

車体

NEWS

AUTUMN 2020 秋

JAPAN AUTO-BODY INDUSTRIES ASSOCIATION INC.



ハイブリッド連節バス
(詳細はP.37を参照)

CONTENTS

巻頭言 2

NEWS特集

環境対応事例発表会を開催 3

「協定規則第58号第3改訂(新JABIAリベット制度)」
の説明会の開催 9

NEWS FLASH

本部だより 11

部会だより 12

支部だより 13

官公庁だより 14

会員情報 16

月度活動状況 17

NET WORK vol.100

愛宕自動車工業(株) 21

VOICE STAGE 88

アクサルタ コーティング システムズ合同会社 23

新型コロナウイルス感染症対策関連製品のご紹介 24

そこが知りたい 第46回

「どうなっていくの物流は?」 25

働くクルマたち 第30回

「新型コロナウイルス感染症対応車両」 27

COFFEE BREAK 29

いどばた会議 第3回

「私の生き生き健康ライフ ～睡眠編～」 31

我が社の元気人 33

DATA FLASH

2020年1月～6月会員生産状況概要 34

編集後記 37



KYBの軽量型5m³ミキサ

MR5030L

新開発フレーム採用による
サブフレームレス構造

軽量化 従来比-80kg



※ 写真はオプション装着車

KYB株式会社

副会長就任にあたり

副会長 宮内 一公

トヨタ自動車東日本(株) 取締役社長



皆様こんにちは、本年度より副会長、並びに環境委員会と広報委員会の委員長を務めさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

ご存知の通り当工業会は、トラック・バンの荷台架装やバス車体、トレーラや各種特装车など「働くクルマ」の製造会社で構成する工業会で、198社もの正会員様で構成されています。いずれも社会生活に欠かせない働くクルマを、様々なお客様のニーズに合わせて全国各地で生産しています。

昨年度の国内商用車登録台数は、消費税率引き上げや、新型コロナウイルス感染症拡大など、取り巻く環境の劇的な悪化があったものの、前年からの輸送系車両の安定需要を受け441千台(前年比97.9%)、そのうち当会に深い関係の中貨物車は92千台(100.4%)と2年連続の増加となりました。これは会員の皆様の商品がお客様のニーズに的確にお応えし日々努力を重ねられた成果であり、本当に素晴らしいことだと思います。

一方、今年度は引き続きの代替需要は見込まれていないものの、コロナ禍の影響による景気後退により減少が避けられない状況で、更なる企業体質強化が必要なのはいうまでもありません。取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、更にはお客様のニーズも今まで以上に高度化、多様化しています。コロナ禍の拡大と終息後の新たな需要構造への変化、東京オリンピック・パラリンピック開催延期による時限的な需要増減、低価格、低燃費、高品質、高積載量、環境対応等は勿論のこと、特に安全に関してはIoT、AI、CASE等の先進技術を活用した安全で運転し易い商品への期待も大きく高まっています。また同時に、CSR対応、リスクマネジメント体制整備、SDGsへの取り組み等の社会環境変化への対応も大きな課題かつ責務です。

これらの取り巻く課題に立ち向かうために当会では様々な取り組みを推進しています。安全対応では架装車

に最適な車両法規改正を提案し、車体に関する規格化、基準化の推進を行っています。また、使用過程車安全確保と保守点検の啓発活動、技術的調査研究や共同開発、部品共通化の推進、CASE等新技術への対応など、技術レベルアップを支援しています。環境対応では架装物リサイクルに関する自主取組みを進め、環境・新環境基準適合ラベルの取得と普及促進活動や、環境負荷物質フリー宣言100%の支援、生産活動に伴う環境対応技術支援も行っています。中小規模の会員様には、部会活動と連携した要望事項、困りごとに対し有用な情報の調査と展開、そして新型コロナ等の影響に対する支援や、コンプライアンス、リスクマネジメント、安全衛生活動等への支援を行っています。加えて東京モーターショーをはじめとするイベント参加や広報活動等、車体業界の社会での認知度向上への取組みと、本当に幅広い活動を実施し、お客様、社会、そして会員様のために取り組んでいます。

最後に自身の話を少しさせていただきます。私は岐阜県で生まれ、繊維産業に勤める親の転勤で各地を転々となりました。どこの町に行っても工場の煙突がそびえており、工場は子供時代の遊び場であり、私の人生そのものでした。高校生になる頃にはオイルショックで繊維産業は海外へ出て工場がなくなり、跡地は更地になり住宅街となり、これが現実だと強く思いました。そして今、コロナ禍により人々の生活は変わり、日本経済は疲弊し崩壊しかねない状況にあります。自工会の豊田会長もコメントしていますように、自動車産業は経済崩壊の歯止め役であり、いち早く復活させる一番の原動力にならなくてはなりません。モノづくりの現場と真似のできない技能を持った当会の会員様と一緒に、私も微力ながら精一杯の努力をしてみたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

環境対応事例発表会を開催

環境委員会(委員長・宮内一公・トヨタ自動車東日本(株)取締役社長)は、7月16日に2年ぶり、11回目の「環境対応事例発表会」を開催した。今回はコロナ禍での開催のため、くるまプラザ会議室で講演・発表を行い、参加者はWEB会議ツールを利用して聴講する形式とし、総勢87名が参加した。

冒頭、宮内委員長から「当会では、環境対応が経営問題と直結し社会的責任を果たすという考えに基づき、2本柱の活動である“商用車架装物リサイクル”と“生産工程での環境負荷低減”について、関係団体や会員各社と連携を取りながら取組みを進めています。会員各社の皆様には、本発表会を契機に改めて着実な環境への取組みをお願いします」との挨拶があった。



宮内委員長

特別講演

2050年を見据えた長期ビジョン 企業を取り巻く3つの潮流とその好事例

アマタ(株)
サステナビリティ・デザイングループ
正島 康博 氏

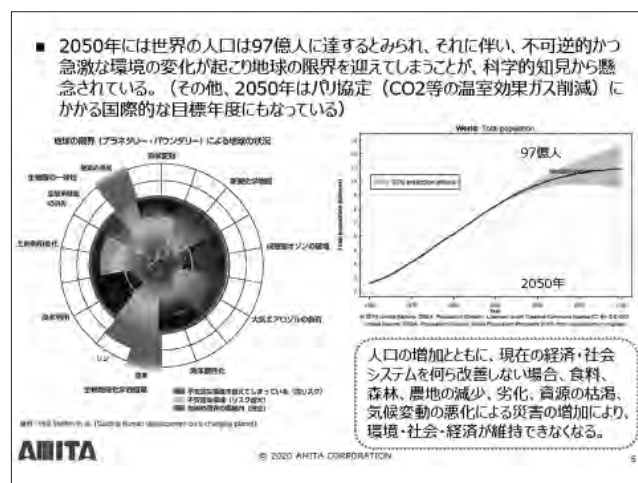


サステナビリティに関する取組みの重要性が叫ば

れる中で、企業において今後重要なことは、2050年の環境・社会・経済の姿を確実に捉え、グローバル、ローカルの社会変革(SDGs、パリ協定、脱炭素、サーキュラーエコノミー)に対し、設計、調達、製造、サービス、廃棄まで、サプライチェーン全体で、業界団体とも協力しながら持続可能な事業を追求していくことである。そのためには2050年の長期視点を持ち、2020年をこれまでの取組みとともに新たな課題を設定し備える1年と捉えることが必要。

まず2050年の長期的視点で世界を俯瞰する点では、国連が推計する人口の急拡大とともに、生物多様性の喪失や気候変動など、「地球の限界」と呼ばれる急激な環境変化により地球の持続可能性が失われてしまうことが予想されている。(図1参照)

図1 地球の限界(プラネタリーバウンダリー)



今日、これらの国際的な潮流の中に、人、モノ、カネ、情報を取り込まれ、特に企業の長期的な資金調達の面で、ESG投資※の活発化にも繋がっている。国連で採択された、2030年に世界全体で達成すべき17の目標を示すSDGsは、他の2つの潮流であるパリ協定(国連採択)やサーキュラーエコノミー(EU委員会採択)が、このSDGsの目標達成に貢献し得るという点において、3つの潮流の中心的存在(企業の行動指針)といえる。(図2参照)

パリ協定(脱炭素経営)では、ESG投資を背景に、取引先がサプライヤー企業に対しCO2排出量の情報開示、CO2削減目標の策定や削減施策の実施などの取組みを要請

※ESG投資:従来の財務情報だけでなく、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)要素を考慮した投資。

する(サプライヤーエンゲージメント)ことが多くなっている。サプライヤー企業は、これをリスクではなくサプライチェーンの関係性構築のための機会と捉え、まず取引先との情報共有を進めることが肝要。

図2 サステナビリティ国際的な潮流



サーキュラーエコノミー(以下:CE)については、2015年にEU委員会において、CEの実現に向けた戦略「サーキュラーエコノミー・パッケージ」が採択され、2030年までの成長戦略が定められ、CEを推進する団体からは5つのビジネスモデルが提示された。こうしたビジネスモデルチェンジを進めていく上で重要なことは、サプライチェーンの中で自社で取り組める要素を見出す点において、積極的に取引先、サプライヤーなどのステークホルダー(消費者を含めた関係者)や他業種、また業界団体と連携を進めていくことである。(図3参照)

図3 サーキュラーエコノミー 5つのビジネスモデル



こうした潮流に対し、これまでに多くの企業の好事例が生まれている。脱炭素では再生可能エネルギーの利用やEV車など低炭素製品の開発、またCEでは、リサイクル、リユースに繋がる易解体性を考慮した設計を行うなどの事例がある。現状、取組みを促進するための法規制は多くなく、ソフトローと呼ばれる市場を通じた仕組みの中で業界団体等が自主的に取組みを行っている。しかし、ソフトロー

はいずれ法規制へと転換される可能性があるため、法規制のリスクとなる前にこの潮流を、新製品開発、人材獲得、従業員を含め取引先等のステークホルダーとの関係性強化など、サプライチェーンを通じて自社の機会として実現することが重要。このように、長期視点をもってサステナブルな事業活動を行うことが、自社とともに持続可能な社会の発展において望まれる。

環境対応事例

①スワップボディコンテナ車両活用促進について

日本トレクス(株)
設計部 部長
井澤 雅史 氏

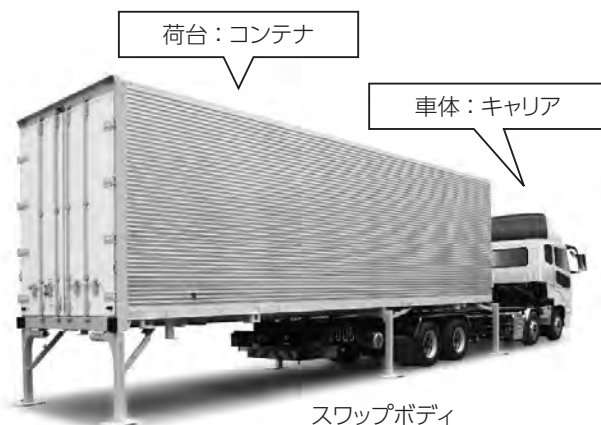


1. まえがき

スワップボディコンテナ車両は、主として「荷役分離による待ち時間のムダを削減」を目的に開発された。

近年では、ドライバー不足(女性ドライバー等の活躍)運送業界の働き方改革への対応として注目されている。又、業務の効率化により、環境側面からみた改善も期待される。

<特徴> 車体と荷台を分離することができ
分離中に荷役作業の実施が可能



2. スワップボディコンテナ車両の操作方法

大型低床4軸車を利用したスワップボディコンテナ車両は、キャリア側のフルエアサス車高調整機能を利用。

コンテナを装着する時は、キャリアの車高を下げた状態でコンテナの中に入り定位置で車高を上げ緊締装置で固定。

離脱するときは、緊締装置のロックを外しキャリアの車高を下げた状態で行われる。

特別な昇降装置を装備する必要がないため、故障が少なく長期にわたり安心して使用できる。

3. スワップボディコンテナ車両導入により期待されること

- ① 女性ドライバー等の活躍(ドライバー不足への対応)
荷役分離することにより、体力に自信のない女性や高齢ドライバーの負担を軽減。



② 働き方改革

長距離拠点間輸送に於いて、中継拠点設置により荷物を乗せ換えすることなく折返し運行が可能。
日帰り運行となり、ドライバーの負担を軽減。



4. 環境側面からみた、期待される有用性

- ① 労働時間短縮によるエネルギー消費量削減
荷役作業時に発生する積荷待ち、待機時間を短縮。
労働時間が短縮されることによるエネルギー消費量の削減が期待される。
- ② 相互利用による積車率向上
コンテナの共同運行により空車を減らし、運行計画を最適化、CO2削減が期待される。
- ③ コンテナの長寿命
メンテナンスを行うことにより、キャリアの使用期間に関係なく長期間利用できる。

5. 課題

相互利用可能環境づくり、全国的な普及が望まれる。架

装メーカーとしては、多様なニーズに応えるコンテナ及びキャリアの開発が必要となる。

6. 最後に

スワップボディコンテナ車両は、運送業界が抱える課題であるドライバー不足、働き方改革に対応するだけではなく、環境側面からみた改善に適した車両である。

今後、更なる普及を目指し、より良い製品の開発・生産に努力していきたい。

②省エネ対策について

ジェイ・バス(株)

生産技術部 環境計画G

赤松 伸一 氏



1. まえがき

当社はCSR活動の一環である、「環境に配慮した事業プロセスの追求」を掲げており、長期的目標として『ありたい姿』を設定、それを目指し環境活動を行っている。

◆環境に配慮した事業プロセスの追求

ありたい姿	目標に関連するSDGs		
高効率な生産プロセスにより省エネを追求した工場を実現している	7 	12 	13 
再生可能エネルギーを導入している			
物流のカーボン効率の向上を実現している			

その『ありたい姿』の中で「CO2排出量原単位の削減」として数値目標を設定し、「省エネ対策」を実施している。

今回「省エネ対策」の事例について紹介する。

2. 省エネ事例

①照明

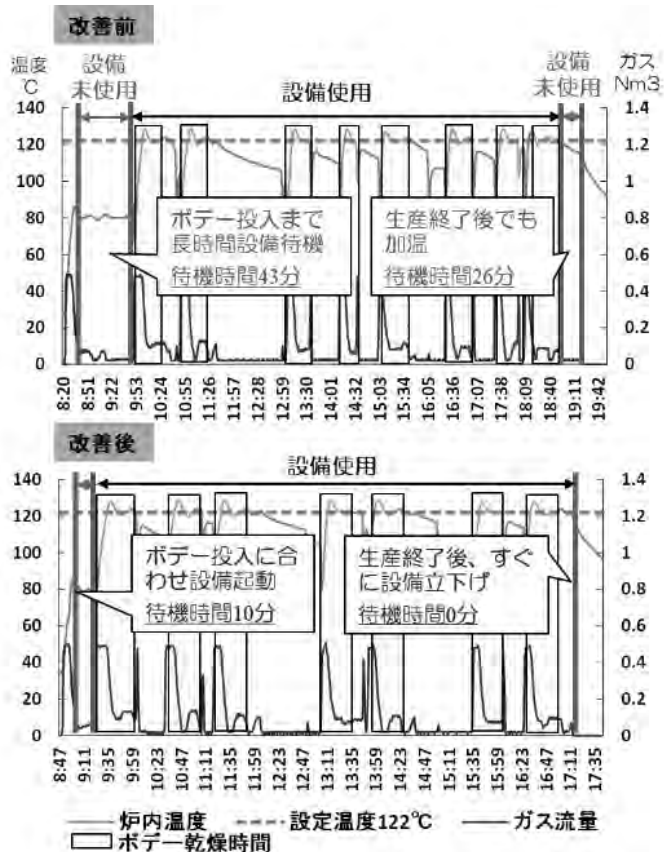
- ・水銀灯や蛍光灯をLEDへ更新し省エネ化。
- ・2023年に完全切替となる計画。

②塗装工程 — 「見える化」強化

- ・エネルギー使用量の割合が大きい塗装工程に各種計測器設置、「見える化」を強化することで、省エネに繋がるポイントを見つける。
- ・塗装乾燥炉において待機時間もエネルギーを消費していることを確認。

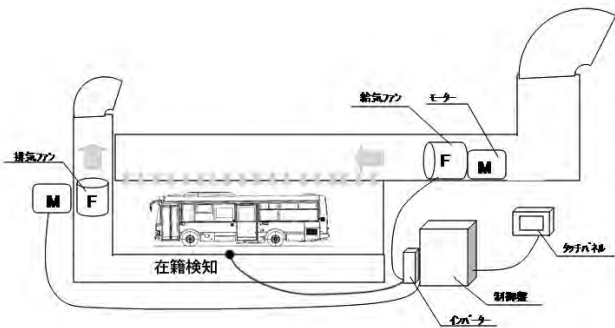
タクトタイムに合わせ、より細かな立上げ・立下げ時間を調整することにより、稼働時間の短縮、エネルギー使用

量削減へと繋がった。



③塗装工程 — ファン出力抑制

- ・バスボデーの塗装ブースは、給気ファンと排気ファンとで構成されており、生産稼働中、各ファンは定格出力で連続運転していた。対策として各ファンにインバーターを設置、バスボデーが塗装ブース内にないときは各ファンの出力を抑制する制御を導入。
- ・バスボデーが塗装ブース内にあっても、塗装作業がないときは作業者が出力抑制できるようにし、より省エネに繋げる改善を実施した。



バスボデー塗装ブース システム図

④塗装工程 — モーター

- ・塗装工程で使用しているモーターを更新する際、プレミアム効率モータ(IE3)を選定し省エネ化。

⑤物流 — テストコース

- ・バスのテストコース効率化により、コースを短縮。

その結果、車両燃料の使用量削減に繋がった。

⑥物流 — 運搬動力車バッテリー化

- ・エンジン式からバッテリー式を採用し、使用エネルギーを液体燃料から電気に変更することで、CO2排出量削減・コスト削減を図った。

⑦省工ネ機器

- ・ブローワー等に使用しているVベルトやプーリーを、省エネタイプの機器に交換することで省エネ化。

3. まとめ

今後の課題

課題の内容	ありたい姿
1.塗装工程以外の省エネ施策 エネルギー消費量が大きい塗装工程は改善中 塗装工程以外の省エネ施策の強化	高効率な生産プロセスにより省エネを追求した工場を実現している
2.古い設備を修繕しつつ省エネ化 特に宇都宮工場は30年経過した設備が多数あり、修繕・更新しながら、省エネ対策のタイミングを図る	物流のカーボン効率の向上を実現している
3.再生可能エネルギー導入に向けて検討 両工場、再生可能エネルギー導入は検討段階 世の中の動向や導入済み工場の意見等情報収集	再生可能エネルギーを導入している

今後も『ありたい姿』を目指し、課題をクリアしていき、目標の「CO₂排出量原単位の削減」を達成するため、省エネ活動に努めていく。

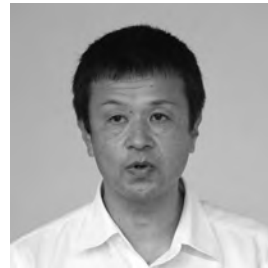
環境委員会

環境委員会の取組みについて

工場環境分科会長

杉山透氏

トヨタ車体(株) PE環境部



1. 環境委員会の活動内容

環境委員会は、環境問題への確に、スピーディーに対応するため2005年に設置された。「架装物リサイクル」と「工場環境」の2つの分科会を設け活動している。

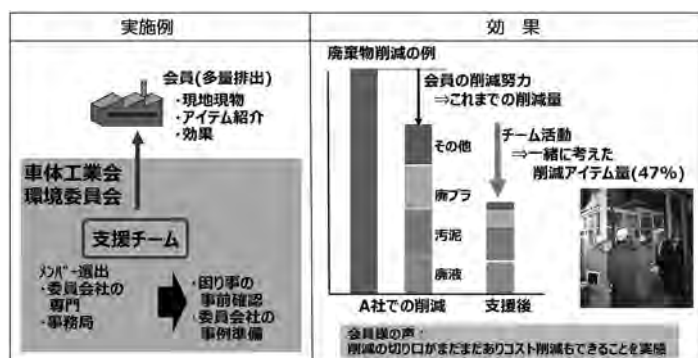


2. 分科会活動

- (1) 架装物リサイクル分科会は、商用車のリサイクル設計の推進と、環境負荷物質削減を中心に活動している。会員の製品が、環境にやさしく、安心して使用できる証明となる環境ラベル制度を構築し、社会への普及、促進を図っている。

項目	活動内容	主な会員支援
1. リサイクル設計の推進	(1)基準適合機種認定 環境基準(新ラベル) 新環境基準(旧ラベル)  	・解体マニュアルの公開 ・認定要件対応サポート ・ラベル認知度向上させ、取得メリットを促進
2. 環境負荷物質削減の推進	(2)人体への影響が大きい環境負荷物質削減を推進【削減目標】 ①鉛使用量：30g/台以下 ②水銀、六価クロム、カドミウム：使用禁止	・代替部品(非含有)調査、提案

- (2) 工場環境分科会では、生産時の「CO₂」「VOC」「廃棄物」の3つの項目で、排出目標を掲げ、削減を推進し、結果を公表している。この目標に対し、個社では解決できない会員へは、専門性の高い委員による支援チームを作り、現地現物での診断を行い、適切な削減方法を提案している。



<支援チーム活動と成果>

3. 今後の課題

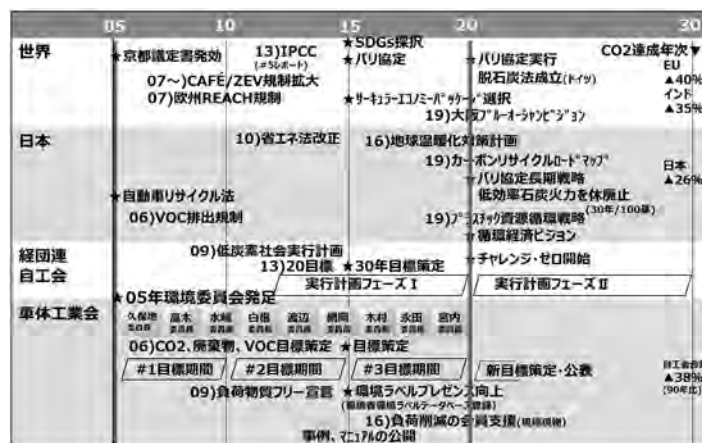
- (1) 地球温暖化対応

世界のほぼすべての国で取り組むパリ協定が今年、実行元年を迎え、世界規模で脱炭素の動きが加速。業界、企業、エネルギー産業が協力し、いかにCO₂を下げるかという議論を真剣にしないと、間に合わない状況。

取引先がサプライチェーン全体で排出目標を設定することで関連する各社も、そこに巻き込まれることになる。

- (2) 廃棄物・リサイクル対応

海洋プラスチック問題などを受け、種類別の目標設定やリサイクルの質への言及などこれまでの対応領域が変わり始めている。また、クルマの高度化に合わせて、LiB搭載が増加し、将来、使用済みとなることから、回収方法やリサイクル技術が新たな課題となる。



環境変化と車体工業会の活動

4. まとめ

- (1) CO₂は、企業や業界への情報開示要請・評価の注目点が「排出量」にシフトした。製品の生産エネルギーは最少化し、使わなければならないエネルギーは再生可能エネルギーになる。取り組む範囲はサプライチェーン全体にわたり、走行時の排出量を対象とされれば、架装物搭載の働くクルマとしてCO₂の削減に期待が高まり、いずれ架装物も含めた排出量が議論される見込み。
- (2) 循環型社会構築に向け、高度化するクルマを如何にリサイクルするか、易解体性の重要性はますます増し、LiBなどの処理困難物に対する回収、リサイクルの方法の確立や種類別の目標設定について協議する必要がある。

	現状の取組み	トレンド	今後
CO ₂	製品 排出量削減 (自工数と合算)	生産 CO ₂ 排出量ゼロへの挑戦 気温上昇2℃以下に抑える科学的根拠に基づいた排出目標 ・原単位から排出量削減へ ・化石燃料との差別 ・取引先、お客様からの削減期待	気候変動 ・更なる省エネ努力 ・再生可能エネルギーの利活用 ・架装物を含めた走行CO ₂ 排出量削減
廃棄物	解体性 有害物質フリー	廃棄物削減 高度化するクルマのリサイクル対応 ・電気等次世代自動車や、電力自家消費ニーズの増加から、LiBが急速に普及 ・資源の有効活用、安定確保の面からリユース/リサイクル/資源循環が社会的課題に ・海洋プラスチック問題、中国輸出規制など国際的な対応	廃棄物削減 ・廃棄物削減に加え、リサイクルの量と質が議論 ・廃棄物削減に加え、リサイクルの量と質が議論 ・廃棄物削減に加え、リサイクルの量と質が議論
VOC	—	原単位	・一定の成果、取り組み継続

CO₂、廃棄物のトレンドと今後の方向

環境・新環境基準適合ラベルの取組み

架装物リサイクル分科会長

伊東 慎 氏

日本フルハーフ(株)
開発第一部



1. まえがき

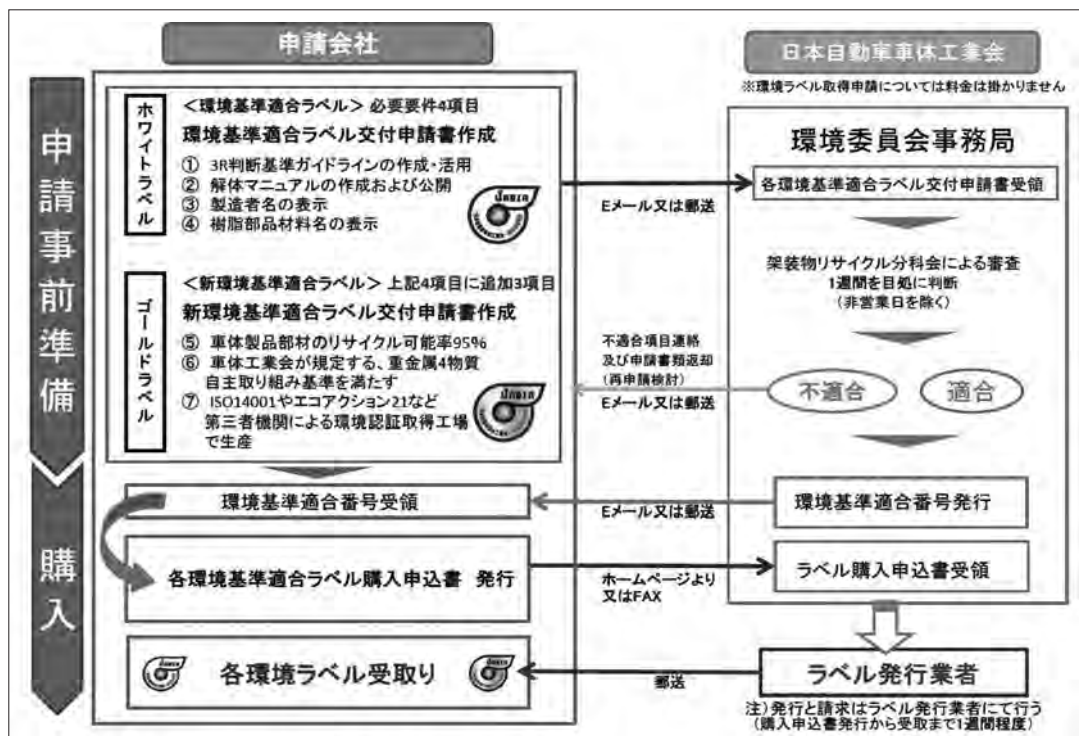
『環境・新環境基準適合ラベル』の交付基準及び交付申請書類の改訂及び広告デザインの刷新について紹介する。

2. JABIA規格『環境基準適合ラベル及び新環境基準適合ラベルの交付基準及び交付申請要領』の改訂

JABIA規格の記載内容をより解りやすくするために見直しを行い、「各環境基準適合ラベルの要件の実施基準一覧表」と「各環境基準適合ラベル申請及び購入フロー」を作成した。また、ラベル交付申請書と購入申込書も新書式としたので、今年度からは新書式での対応をお願いしたい。

<詳しくは以下JABIA規格参照>

https://www.jabia.or.jp/cms/wp-content/themes/httpdocs/assets/pdf/environment/activity/activity-item__item03.pdf



各環境基準適合ラベル申請及び購入フロー

3. 環境・新環境基準適合ラベルの広告デザイン刷新

トラック関連企業、事業主・荷主、一般に幅広く周知されやすいデザインに刷新した。

- ① 全体を解りやすくシンプルに、環境に優しいイメージ
- ② 環境基準ラベルが、真っ先に目に飛び込んでくるよう、ラベルを大きく中央に掲載
- ③ 印象的で目立つキャッチフレーズ
- ④ ラベル貼付け車種事例を掲載

4. ホームページを活用した企業アピール

環境ラベルを題材に、企業のホームページで会社のアピールに使用されている事例があり、以下に紹介する。

(株)ティービーエム <https://tbm-body.jp/archives/2718>



5. 最後に

架装物リサイクル分科会では、環境にやさしくお客様が安心して使用できる「動くクルマ」を提供し続けるために、環境・新環境基準適合ラベルの普及活動を今後も推進していく。

なお、環境・新環境基準適合ラベルは、会員要望から20枚単位の購入を可能(従来100枚単位)とした。

<詳しくは、以下JABIA SHOP参照> <https://www.jabia.or.jp/jabiashop/>



デザインを刷新した広告

「協定規則第58号第3改訂 (新JABIAリベット制度)」の説明会の開催

中央技術委員会突入防止装置技術委員会(委員長・岡本齊・新明和工業(株)特装車事業部品質保証部)では、7月28日、「協定規則第58号第3改訂(新JABIAリベット制度)」の説明会を実施した。説明は、WEB会議ツールを利用して聴講する形式とし、総勢68社(93回線)が参加した。

講師は、委員長が務め、2021年9月1日から突入防止装置に適用される協定規則第58号第3改訂及び当会が制度化する新JABIAリベット制度について詳しく説明した。

1.主な説明

改訂の背景

UN-R58-02の以下の課題解決を目的に2016年に改訂された。

1.突入防止装置の強度不足

追突される車両と追突する車両の相対速度の上昇に法規が追従できていない。

2.突入防止装置の取付け不良

UN-R58-02では、装置単品の強度しか求めておらず、製作者の意図に合わない取付け方をされる可能性があった。

3.突入防止装置の取付位置が高すぎる

追突する車両(乗用車)の車高が低い場合、車両の構造体の位置より突入防止装置が高いと潜り込み防止の効果が低い。



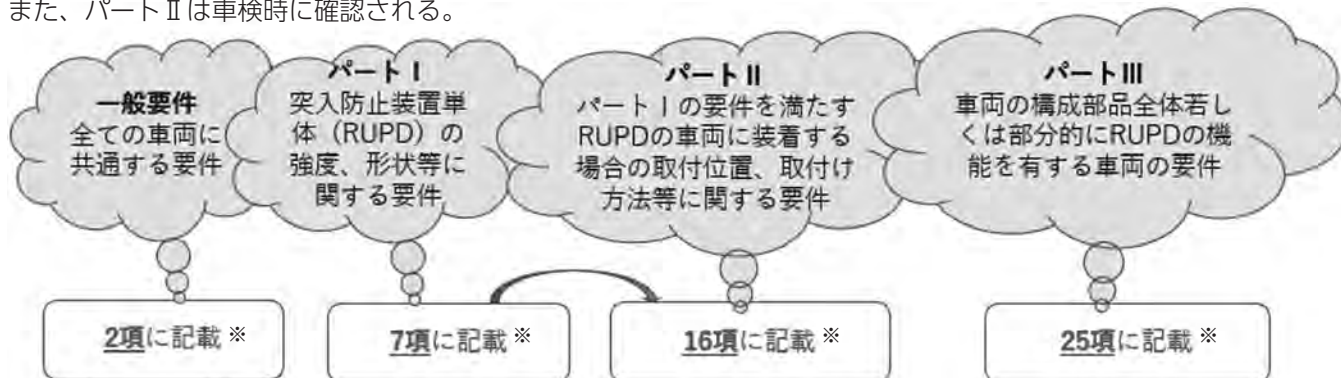
岡本委員長のWEBによる内容説明

突入防止装置に適用される技術基準と車工会の対応の変遷

保安基準・細目告示・通達					JABIA対応	協定規則第58号	
省令・告示	施行日	適用日	技術基準	概要		発行日	改訂番号
技術基準なし						1983/7/1	UN-R58-00
省令第38号 (1991/11/16)	1992/6/1		旧運輸省通達 自技第78号別添4 (1991/11/18/)	GVW8t超、最大積載量 5t超に適用(協定規則を 参考に保安基準の技術基 準作成)	JABIA認証制度 (旧JABIAリベッ ト制度) (参考) 「突入防止装置の 識別要領書につ いて」 4自技発第390号 車体発4第118号 (1992/5/18)	1989/3/25	UN-R58-01
省令第56号 (1996/10/31)	1997/1/1	1997/10/1	旧運輸省通達 自技第248号別添 15 (1996/12/20)	GVW7t超に拡大			
省令第84号 (2002年7月3日) 告示第619号 (2002/7/15)	2002/9/1	2005/9/1	細目告示別添25、 26	通達→保安基準の細目告 示化 GVW3.5t超に拡大 全長4.7m以下、幅1.7m 以下、高さ2.0m以下の車 両を除く			
		2007/9/1		全長4.7m以下、幅1.7m 以下、高さ2.0m以下の車 両追加			
省令第59号 告示第869号 (2008/7/7)	2008/7/11	2012/7/11	UN-R58-02	GVW3.5t超の貨物車に UN-R58-02を適用	↓ ・装置形式指定 の取得支援 ・JABIAプレート 制度 ↓	2008/7/11	UN-R58-02
省令第72号 告示第829号 (2012/7/26)	2012/7/26	2015/7/26		全ての自動車にUN- R58-02を適用		2012/7/26	UN-R58-02 一補足改訂1
告示第1319号 (2012/11/16)	2012/11/18			上記の過度規定修正のみ		2012/11/18	UN-R58-02 一補足改訂2
告示第726号 (2013/7/12)	2013/7/15	2013/7/15		TGL等バンパの幅を広げ た認可が可能となる改訂		2013/7/15	UN-R58-02 一補足改訂3
告示第826号 (2016/6/17)	2016/6/18	2021/9/1	UN-R58-03	「UN-R58-02」→「UN- R58-03」	・装置形式指定 の取得支援 ・新JABIAリベッ ト制度	2016/6/18	UN-R58-03

UN-R58-03の構成について

一般要件とパートⅠ～Ⅲの4つで構成され、通常架装メーカーが認証を取得する場合は、パートⅠの認証となる。
また、パートⅡは車検時に確認される。



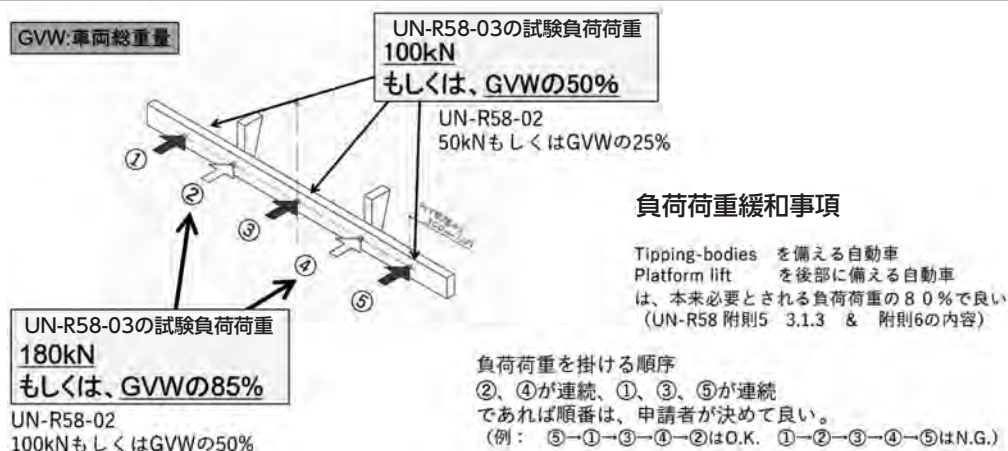
※協定規則第58号第3次改訂版

主な変更点

試験負荷荷重(含負荷試験の方法)と寸法要件が変更された。

<試験負荷荷重変更内容>

強度不足を補うために負荷荷重がアップした。



<負荷点の変更内容>

総重量8tを超える車両：地上600mm以下⇒取付け地上高+60mm以下
(TGLを備えた車両は取付け地上高+50mm以下)

<断面高さの変更内容>

総重量8t以下車両：変更なし(地上600mm以下)
総重量8tを超える車両：100mm以上⇒120mm以上に変更
総重量8t以下とテールゲートリフタを備えた車両：変更なし(100mm以上)

新JABIAリベット

以下を目的に、RUPD又はスペーサ左舷の見やすい位置にリベットを取り付ける。

- ・車検(継続車検含む)時に、リベットの確認により、保安基準への適合性が担保されていることが識別可能となり、当日の検査が円滑に進められる。
- ・RUPDを取り付けたメーカーが分かるため製作者責任が明確になる。

2. 質疑応答

説明の後には、質疑応答の時間を設け、約1時間に亘り参加者の疑問や相談に対応した。当日の質問19件と、説明会後の問い合わせに対する回答は、各部会事務局を通して、8月5日会員展開した。

拡大

リベット外観

非認証RUPD用

スペーサ用

会員コード番号刻印

識別記号
D-7876

会員コード

- A: スペーサ用(旧基準: UN-R58-02)
- B: 非認証RUPD用(旧基準: UN-R58-02)
- C: スペーサ用(新基準: UN-R58-03)
- D: 非認証RUPD用(新基準: UN-R58-03)

■「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」について

中央業務委員会(委員長・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では、新型コロナウイルス感染予防対策のガイドライン(オフィス向け、製造事業場向け)を会員展開した。

<木村会長からの展開内容とガイドライン>

車体工業会は、新型コロナウイルス感染拡大の防止に向けた、様々な取組みを展開し、感染症の抑制に成果を上げてきました。一方、その完全な終息までの期間が長期にわたることを考えると、企業には、感染防止のための取組みを一層進め、新型コロナウイルス感染症のまん延を防止していく役割に加え、事業を通じた国民生活への貢献拡大という役割が求められます。

車体工業会では、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」や新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の分析・提言などを踏まえ、個々の業界や事業場の実態に応じた新型コロナウイルス感染予防対策を行う際の参考として経団連が作成したガイドライン(オフィス向け、製造事業場向け)を実践することで、引き続き感染予防に取り組むたいと考えます。

つきましては、対処方針の趣旨・内容をご理解いただいた上で、本ガイドラインに示された「感染防止のための基本的な考え方」と「講じるべき具体的な対策」を踏まえ、創意工夫を図りながら、新型コロナウイルスの感染予防に取り組むとともに、社会基盤としての役割を引き続き果たしていただきますようお願い申し上げます。

<詳しくは以下を参照>

<https://www.jabia.or.jp/news/9088/>



■新型コロナウイルス感染症危機下における資金調達支援「助け合いプログラム」について

中央業務委員会(委員長・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では、日本自動車工業会(会長・豊田章男、以下自工会)の自動車業界初の取組みとして、新型コロナウイルス危機下における自動車関連企業の資金調達を支援するための「助け合いプログラム」(以下、本プログラム)を、6月23日に当会会員へ展開した。

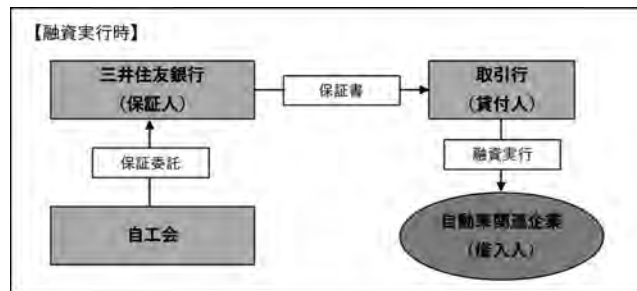
本プログラムは、自工会より金融機関(三井住友銀行)に預け入れる預金を担保として信用保証を行うことで、資金調達を早期に必要なとする自動車関連企業が、取引銀行か

ら迅速に融資を受けることを可能にする仕組みとなっている。(図1及び表1参照)

当面必要な資金調達ニーズに迅速に対応するため、自工会を主体として立ち上げ、他3団体と連携しながら、「目利き」力を発揮し、支援の早期実現を目指す。

今後も業界内一致団結の上、コロナ危機の克服と日本経済復興の牽引役を果たしていけるよう、相互に支え合いながら努力を続けていく。

<図1>助け合いプログラム ワークフローイメージ



<表1>助け合いプログラム概要

実施主体	・ 一般社団法人 日本自動車工業会
プログラムの対象	・ 当面は自動車業界4団体の会員企業の内、新型コロナウイルスの影響により資金繰りに影響がある企業を対象(今後、非会員の自動車関連企業への拡大も検討) ・ 自動車産業や日本のモノづくりにとって不可欠と考えられる開発/生産/製造の技術や商品の保有状況等を考慮の上、決定
資金使途	・ 新型コロナウイルスの影響による運転資金を想定
保証限度額	・ 1億円
保証期間・返済方法	・ 新型コロナウイルスの影響に伴う短期的な融資を前提としており、1年一括返済
金利・担保・連帯保証人	・ 金利・担保・連帯保証人は、取引行が決定
その他条件	・ 新型コロナウイルスの影響に伴う、「新規」の融資申込案件が対象。 ・ 取扱銀行の制限はありません。
申込方法	・ 各会員企業様より、下方記載の所属団体窓口までお問い合わせください。 ・ 手続き詳細や必要書類のご説明をさせていただきます。
問い合わせ先	一般社団法人日本自動車車体工業会 support@jabia.or.jp (本プログラム専用メールアドレス)

<詳しくは以下を参照>

<https://www.jabia.or.jp/news/9232/>



■自動車業界としての新型コロナウイルス対策支援について

広報委員会(委員長・宮内一公・トヨタ自動車東日本(株)社長)では、自動車工業4団体*の新型コロナウイルス感染症対策取組み状況を掲載した「自工会ホームページ」及び「自工会ホームページにリンクするバナー」を当会ホームページに掲載し、会員展開した。

※ 日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会

自動車工業4団体では、「医療現場を始め、新型コロナウイルスの脅威と闘っている方々のお役に少しでも立ていきたい」「自動車業界としての互助的な仕組みも取り入れながら、未来に向けて失ってはいけない技術・人財を守り、日本のモノづくり基盤を死守していきたい」という想いで、業界一丸となった取組みを進めており、その内容は、当会会員企業の取組みも含め、自工会ホームページにて掲載している。今後も取組みの幅を順次拡大の上、進捗についても随時発信をしていく予定。

自動車業界としての新型コロナウイルス対策支援について

<http://www.jama.or.jp/covid19/>



尚、当会ホームページのトップページに、自工会ホームページにリンクするバナーを追加した。場所は、トップページを下にスクロールし、「その他コンテンツ」のバナーエリアにありますので、ご確認ください。

<詳しくは以下を参照>

<https://www.jabia.or.jp/>



自工会ホームページ リンク用バナー

部会だより

NEWS+FLASH

トラック部会

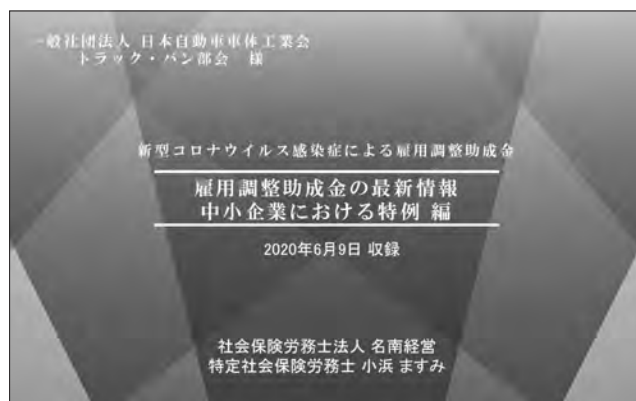
■助成金についてのWEBセミナーを開催

トラック部会(部会長・山田和典・山田車体工業(株)社長)では、今年度の業務委員会のテーマである「助成金・補助金の有効活用」のためにWEBによる助成金セミナーをトラック部会、バン部会、資材部会を対象に6月12日～16日の間で、Vimeoシステムを使って配信した。

WEBセミナーのテーマは、新型コロナウイルス感染症への対応として政府の2次補正予算が成立し、制度が改正されるタイミングをとらえた「雇用調整助成金制度」と、昨年以降法施行され各社が取り組んでいる「働き方改革を進めるための助成金」を選定した。愛知県にある社会労務士保険法人に依頼して当会会員向けのプログラムを組み、【第1部 雇用調整助成金活用の最新情報と申請書の作成ポイント】、【第2部 働き方改革関連の助成金】をより多くの会員会社の各担当者に視聴いただくためビデオ・オン・デマンド(VOD)で配信した。

視聴後の会員からのアンケート結果では、①関心のあるテーマでタイムリーだったためとても役立つものであった ②経営者、総務、人事、会計等の関係者が必要な項目を各自の都合で視聴が可能 ③テーマ別に分かれているので、閲覧したいテーマを自分で選定し視聴できるので便利 ④項目数やセミナー時間もちょうど良い 等多数の肯定的な意見をいただいた。

今後も当会会員様に有益な情報を部会間越えて展開していく。



第1部 雇用調整助成金 中小企業における特例編

北海道支部

■2020年度第1回役員会を開催

北海道支部(支部長・鎌田直樹・北海道車体(株)常務取締役)では、8月20日に北海道車体(株)で、役員10名が参加し、第1回役員会及び工場見学会を実施した。

役員会では、今年度就任した鎌田支部長からの挨拶の後、コロナ禍に伴う支部活動について協議した。今年度は、飲食を伴う会合は中止、9月予定の合同部会は16日に部会長からの報告と各会員からの近況報告会とすることで決定、12月予定の年末懇親会は中止することとした。

工場見学会では、7月に完成したばかりの北海道車体(株)の完成検査場を見学した。道内民間企業では初となる三次元車両計測機及び傾斜角度計測機と素晴らしい設備で大変勉強になった。



北海道車体(株)の完成検査場

中部支部

■愛知県自動車会館展示会を実施

中部支部(支部長・景井啓之・(株)東海特装車社長)は、事務局が入居する愛知県自動車会館にてPR展示を実施した。

愛知県自動車会館では、入居する自動車関連の17団体がロビーでのPRを実施しており、今年で4回目となる。車



車体NEWS・パンフレット・HP紹介

体工業会中部支部は7月の担当として、今年リニューアルされた「車体工業会ホームページ」や「車体工業会パンフレット」、「車体NEWS」の展示を通じて、来館者へのPRを実施した。



車体工業会パンフレットパネル展示

九州支部

■「第2回支部役員会」を開催

九州支部(支部長・矢野彰一・(株)矢野特殊自動車社長)では、8月18日9社11名が出席し「第2回支部役員会」を福岡市で開催した。

支部では、消毒、マスク着用、窓開放しての換気、デスクパーテーションを使う等の感染防止策をして、支部長からの中央情勢報告、支部活動の今後の実施要領や各社の近況などについて話し合いをした。

特に今後の活動要領については、会員から会員同士の情報交換の場を設けて欲しいとの要望もあったが、見学会や懇談会等の行事は一般の新型コロナウイルス感染症の状況が大きく好転しない限り中止することとなった。



デスクパーテーションを使用した支部役員会風景

保安基準の細目告示等の一部改正について

国土交通省

【改正概要】

乗用車等の排出ガス・燃費試験法にWLTCモードを採用するため、細目告示等について以下のとおり改正した。

- ① 超小型モビリティのように、最高速度が制限された電気自動車について、車両に適した走行モードを規定した。
- ② シャンダイナモメータ上で試験走行を行う場合の追従性に関する指標についての要件を規定した。
- ③ 走行抵抗の測定法の一つである惰行法について、惰行を分割して行う場合の要件を規定した。
- ④ 走行抵抗の測定法の一つである風洞法について、空気抵抗を計測する場合の風速の要件を規定した。
- ⑤ 2021年10月1日以降の新型車に適用。

【公布・施行】 2020年6月30日

保安基準の細目告示等の一部改正について

国土交通省

継続検査等においてOBD検査（車載式故障診断装置（OBD）を活用した検査）を可能にするため、並びに特定改造等の許可の際に適用する基準を定義するため、保安基準の細目告示及び同適用整理告示を以下のとおり改正した。

(1) OBD検査

- ① 継続検査等に用いるOBDの技術基準を新設し、自動車の装置の故障を表すコードがOBDから検出された場合、当該装置は保安基準に適合しないこととする。
- ② かじ取装置、制動装置、排出ガス発散防止装置、車両接近通報装置及び自動運行装置について、細目告示第2節（改造車に適用する基準）及び第3節（継続検査に適用する基準）において、当該基準を適用することを定める。

(2) 特定改造等の許可

- ① 特定改造等の許可の際に適用する細目告示の節を規定する。
- ② 特定改造等の許可の際に満たすべき組織のサイバーセキュリティ要件の規定を踏まえ、自動車のサイバーセキュリティ要件の改正を行う。

(3) 適用時期

- ① 上記(1)については、2021年10月以降（輸入車にあっては2022年10月以降）の新型車のうち、型式指定後2年（2024年9月（輸入車にあっては2025年9月）までの間は最大3年）経過した自動車が対象。

- ② 上記(2)②については、2022年7月以降の自動運行装置を備えた新型車から適用。

【公布】 2020年8月5日

【施行】 OBD検査に関する改正は公布の日

特定改造等の許可に関する改正は2020年11月23日

リコール届出等に関する取扱要領の一部改正について

国土交通省

【改正概要】

- ① 特定改造等の許可に関する取扱を追加した。
- ② その他、所用の整理を行った。

【公布】 2020年8月5日

【施行】 2020年11月23日から適用する。ただし、第5号様式については、なお従前の様式によることができる。

道路運送車両法の一部改正する法律の施行期日を定める政令等の公布について

国土交通省

【概要】

昨年5月に公布された道路運送車両法で新たに創設された特定改造等の許可制度について、その具体的な要件や手続き等を定めるため、以下の政令、省令、告示が公布された。

(1) 政令

- ① 道路運送車両法の一部を改正する法律の一部の施行期日を定める政令
- ② 道路運送車両法関係手数料令の一部を改正する政令

(2) 省令

- ① 自動車の特定改造等の許可に関する省令
- ② 道路運送車両法施行規則等の一部を改正する省令
- ③ 道路運送車両法関係手数料規則の一部改正
- ④ 自動車型式指定規則の一部改正
- ⑤ 装置型式指定規則の一部改正
- ⑥ 共通構造部型式指定規則の一部改正

(3) 告示

- ① 自動車の特定改造等の許可に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示

【公布】 2020年8月5日 【施行】 2020年11月23日

自動車の特定改造等の許可に関する省令及び自動車の特定改造等の許可に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示の規定に基づく国土交通大臣が定めるもの等について(依命通達)

国土交通省

【概要】

- ①自動車の特定改造等の許可に関する省令に規定されている「国土交通大臣が定める場合」及び「国土交通大臣が定めるもの」について、その解釈を定めた。
- ②自動車の特定改造等の許可に関する技術上の基準に係る細目等を定める告示の別添1に規定されている「国土交通大臣が定める書面」について、その解釈を定めた。

【公布】 2020年8月5日 【施行】 2020年11月23日

審査事務規程の一部改正について(第30次)

国土交通省

【改正概要】

保安基準の改正等に伴い、以下のとおり改正した。

(1)自動運行装置関係

自動運行装置を備える自動車について、機能、性能等に関する基準を定めた。

(2)電気装置関係

- ①自動運行装置を備える自動車について、電気装置がサイバーセキュリティを確保できるものとして、性能に関する基準を定めた。
- ②自動運行装置を備える自動車について、その電気装置は当該装置に組み込まれたプログラム等を確実に改変できるものとして、機能及び性能に関する基準を定めた。

(3)その他の装置

- ①受検車両と書面の同一性の確認において、当該書面に「自動車製作者による証明書」を追加した。
- ②突入防止装置について、下縁高さ及びその最外縁と後車輪の間隔に関する規定を明確化した。
- ③突入防止装置について、現行規定(UN-R58-02)が適用できる自動車に「2021年8月31日以前に発行された出荷検査証に係る自動車であって、当該出荷検査証の発行後11月を経過しない間に新規検査又は予備検査を受けようとし、又は受けたもの」を追加した。
- ④衝突試験項目等について、超小型モビリティの試験速度を緩和した。
- ⑤灯火装置について、第179回WP29採択に合せ適用する協定規則の番号を整理した。

- ⑥番号灯について、UN-R4の適用時期を3か月延伸し、2020年9月1日とした。

(4)その他

審査方法の明確化、書きぶりの適正化等を行った。

【公布・施行】 2020年6月12日

審査事務規程の一部改正について(第31次)

国土交通省

【改正概要】

(1)新規追加したTRIAS

- ①TRIAS_08-J042GTR015-01 燃料消費率試験(世界統一技術規則第15号(WLTCモード))
- ②TRIAS_31-J042GTR015-01 軽・中量車排出ガス試験(世界統一技術規則第15号(WLTCモード))

(2)一部改正したTRIAS

- ①TRIAS_11(2)-J007R018R116-01 四輪自動車等の施錠装置試験
- ②TRIAS_18-R094-02 オフセット衝突時の乗員保護試験(協定規則第94号)
- ③TRIAS_18-R137(1)-02 前面衝突時の乗員保護及び燃料漏れ防止試験(協定規則 第137号)
- ④TRIAS_22-R017(1)-02 座席及び座席取付装置試験(協定規則第17号(乗用等))
- ⑤TRIAS_22-R080(1)-03 バスの座席及び座席取付装置試験(協定規則第80号(単品))
- ⑥TRIAS_22(3)-R016(2)-02 座席ベルト試験(協定規則第16号(車両))
- ⑦TRIAS_32-J052R048-04 灯火器及び反射器並びに指示装置の取付装置試験
- ⑧TRIAS_32-R123-05 前照灯試験(協定規則第123号)

(1)廃止するTRIAS

- ①TRIAS_08-008-01 燃料消費率試験(圧縮水素燃料電池自動車)

【公布・施行】 2020年6月30日

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のご案内

国土交通省

国土交通省は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に資するよう開発された、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA:COVID-19 Contact Confirming Application)をリリースした。

<概要>

- ①本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることが可能
- ②利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができる
- ③インストールは下記URLに接続して行う
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



<詳細は以下を参照>

<https://www.jabia.or.jp/news/9236/>



令和3年経済センサス - 活動調査を実施します。

- 令和3年6月1日現在で経済センサス-活動調査を実施します。
- 経済センサス-活動調査は、我が国における産業構造を包括的に明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、「統計法」という法律に基づいた報告義務のある基幹統計調査です。



本調査実施にあたり、支社等を有する企業の本社あてに、令和2年10月下旬から順次「企業構造の事前確認票」を郵送しますので、内容のご確認・ご回答よろしくお願いいたします。

総務省・経済産業省

■経済産業省人事異動

(2020年6月23日付)

製造産業局自動車課課長

吉村 直泰氏

(前職) 製造産業局自動車課

参事官(自動車・産業競争力担当)

併 戦略企画室長

※前任の河野太志氏は、資源エネルギー庁電力・ガス事業部
原子力立地・核燃料サイクル産業課長に就任されました。



■国土交通省人事異動

(2020年7月21日付)

自動車局審査・リコール課課長

酒井 雅彦氏

(前職) 環境省 水・大気環境局

総務課 調査官

※前任の久保田秀暢氏は、同局の技術・環境政策課
の課長に就任されました。



会員情報

■入会

正会員 東急テクノシステム(株) 取締役社長 村田 和夫
〒211-0067 神奈川県川崎市中原区今井上町11-21 TEL: 044-733-4351
【主要製品】 車いす移動車 【所属部会】 特種部会

■退会

準会員 日本ビニル工業(株)

■代表者変更

正会員	(株)アイチコーポレーション	代表取締役社長	山岸 俊哉
	SGモータース(株)	代表取締役社長	羽田 斎
	(株)オサカベ自動車工業	代表取締役社長	長壁 幹
	北関東自動車工業(株)	取締役社長	小林 次郎
	極東開発工業(株)	代表取締役社長 社長執行役員	布原 達也
	高田工業(株)	代表取締役社長 執行役員	松山 静夫
	日産車体(株)	代表取締役社長 社長執行役員	吉村 東彦
	日通商事(株)	代表取締役社長	竹津 久雄
	フェニックス工業(株)	代表取締役社長	上野 孝弘
	(株)モリタエコノス	代表取締役社長	玉置 敏之
準会員	クラリオン(株)	代表取締役社長	村上 洋
	小松マターレ(株)	代表取締役社長	佐々木久衛
	ゼット・エフ・ジャパン(株)	代表取締役社長	多田 直純
	TBカワシマ(株)	代表取締役社長	鈴木 輝男
	日本カーバイド工業(株)	代表取締役社長 社長執行役員	杉山 孝久
	パーソルR&D(株)	代表取締役社長	磯田 英嗣

■本社移転

正会員 アジア工業(株) 〒701-2142 岡山県岡山市北区玉柏562 TEL 086-206-7520
ベルリング(株) 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-24-8
TEL 03-6807-4467(東京)

準会員 ゴールドキング(株) 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘1-16-39-2
TEL 052-212-9671

6月

9日	中央技術委員会／バックカメラ義務化対応WG (WEB会議)	① 協定規則最新情報の共有 ② シャシメーカー及びカメラメーカーへの要望事項検討
	臨時常任委員会 (WEB会議)	① 自動車工業4団体新型コロナウイルス対策支援論議 ② 直近の当会活動論議
	特装部会／サービス委員会 (WEB会議)	① 架装物安全点検ステッカー使用実績調査 ② メンテナンスニュースNo.50 (作動油交換とグリス給脂) 検討
10日	特装部会／脱着車分科会 (WEB会議)	① 特装技術委員会結果報告 ② キャリア・コンテナ互換性審査
	バン部会／技術委員会 (WEB会議)	① 冷凍機付自動車取扱いの手引きにフロン回収・破壊法の改正内容を盛り込む ② 安全輸送ニュースNo.4「荷役作業時における労働災害をふせぐために」のレイアウトを含めた見直し
	バス部会／技術委員会 (WEB会議)	① バス車体規格集2021年版発行に向けた変更内容の確認 ② 法改正情報等の共有
11日	環境委員会／架装物リサイクル分科会 (WEB会議)	① 2020年度第1回環境委員会進め方打合せ 環境適合ラベル取得推進、環境負荷物質フリー宣言等 ② 環境対応事例発表会講演内容確認
	トレーラ部会／技術委員会 (WEB会議)	① R141 (TPMS)、R142 (タイヤ取付) タスクフォース進捗状況共有 ② 共通構造部移行方法確認
12日	バス部会／塗装デザイン研究会 (WEB会議)	① バス車体用塗色見本帳2022年版発行に向けた活動内容の確認 ② 塗装勉強会企画内容の確認
12日～16日	トラック部会／WEBセミナー	雇用調整助成金についてのWEBセミナー配信 ▶ P.12
16日	環境委員会／工場環境分科会 (WEB会議)	2020年度第1回環境委員会進め方打合せ 2020年度調査 (CO ₂ ・産廃・VOC)、CO ₂ ・産廃会員支援活動等
17日	バン部会／業務委員会 (WEB会議)	① 毎月の全国新規登録台数情報提供社の洗い出し ② 登録台数内容 (車種、GVW、メーカーなど) 項目の絞り込み
	バス部会／ワンマン機器小委員会 (WEB会議)	① JABIA規格 (運賃表示器、乗降中表示灯) 改正内容の確認 ② バス車体規格集2021年版発行に向けた変更内容の確認
18日	特装部会／技術委員会 (WEB会議)	① 2020年度事業進捗状況の報告 ② 技術委員会及び技術分科会の課題、問題点検討
	トレーラ部会／業務委員会	① 都道府県トラック協会講演の派遣講師調整・決定 ② ROC動画改訂費用の扱い検討
19日	特装部会／ダンプ車分科会 (WEB会議)	① 特装技術委員会の報告 ② バックカメラ義務化に向けた課題検討
	特種部会／合同委員会 (WEB会議)	① 2020年度事業計画の進捗状況の共有と論議 ② 車体ニュース「働くクルマたち」の記事内容の決定 ③ 工場見学会見直し日程の決定
	トラック部会／技術委員会 (WEB会議)	① バックカメラ義務化に向けた取付位置調査のための試験用ポールを作成 ② 点検整備対象車種の追加検討をし、対象機種をハイジャッキ、スライド、ヒップダウン式に絞り込み
22日	中央技術委員会／点検整備推進分科会 (WEB会議)	① 架装物の安全点検制度運用状況と各部会の活動状況の確認 ② 制度の普及と点検実施率向上策意見交換
23日	中央技術委員会／バックカメラ義務化対応WG (WEB会議)	① 自動車工業会大型車部会参加の報告 ② カメラメーカーからの情報共有
	特装部会／業務委員会 (WEB会議)	① 事業計画の推進状況共有 ② コンプライアンス優先経営の徹底
25日	中小会員ネットワーク強化WG (WEB会議)	① 2020年度事業計画の進捗状況の共有と論議 ② 車体業界の将来ビジョンの企画書の論議、決定
	特装部会／ミキサ車分科会 (WEB会議)	① 特装技術委員会の報告 ② 協定規則の最新情報共有

25日	トレーラ部会／製品安全委員会	①点検整備標準作業点数表の周知活動の進め方検討 ②点検整備記録簿活用状況ヒアリング活動の進め方検討
26日	中央技術委員会／ ISO26262WG (WEB会議)	自工会大型車WG作成のManufacturer guidelineについて意見交換
	特装部会／ クレーン車分科会 (WEB会議)	①特装技術委員会の報告 ②バックカメラ義務化に向けた検討
29日	特装部会／塵芥車分科会 (WEB会議)	①第2回バックカメラWG (WEB会議) の報告 ②ISO/TC297進捗状況報告と国際会議への対応検討
30日	特装部会／ローリ分科会 (WEB会議)	①消防本部毎の追加図書添付状況の調査及び情報共有 ②サイトグラスの評価基準作成について (共通試験項目の選定)
	バン部会／部会会議 (書面審議)	①事業計画1/4期書面報告を承認 ②第2回バン部会開催日程を8月から10月に延期を提案し承認

7月		
1日	特装部会／ 粉粒体運搬車分科会 (WEB会議)	①スクリュ式粉粒体運搬用バルク車 (飼料運搬車) の標準仕様のJABIA規格化検討 ②特装技術委員会の報告
2日	中央技術委員会 (WEB会議)	①2020年度事業計画推進状況の確認 ②協定規則の最新情報共有 ③保安基準の適用時期について周知
7日	環境委員会 (WEB会議)	①2020年度事業計画進捗状況の確認 ②2020年度調査(CO ₂ ・産廃・VOC)、CO ₂ ・産廃会員支援活動 審議
8日	中央業務委員会 (WEB会議)	①2021年度税制改革要望案を論議、合意 ②設備投資アイテムの集約項目・方法の論議、決定
	トラック部会／部会会議 (書面審議)	①部会前の役員会開催と事業計画1/4期進捗報告を承認 ②雇用調整助成金についてのWEBセミナー開催結果報告
	バス部会／技術委員会 (WEB会議)	①バス車体規格集2021年版発行に向けた変更内容の確認 ②中央技術委員会、法改正情報等の共有
9日	自動車工業4団体懇談会 (東京)	①新型コロナ対策取組み進捗共有 ②4団体での中長期取組み方向性論議
	中央技術委員会／ ISO26262WG (WEB会議)	自工会大型車WGとManufacturer guidelineに記載の架装の安全設計追記案について意見交換
	バス部会／塗装デザイン研究会 (WEB会議)	塗装勉強会講師予定の日本ペイント(株)との企画内容確認
13日	トレーラ部会／技術委員会 (WEB会議)	①R141(TPMS)、R142(タイヤ取付)の情報共有 ②多仕様制度移行不明点の情報共有
14日	臨時常任委員会 (WEB会議)	自動車工業4団体新型コロナウイルス対策支援への拠出金(案)の論議
	特装部会／ 清掃車小委員会 (WEB会議)	①ISO/TC297結果報告 ②ISO/TC195最新情報の共有
15日	中央技術委員会／テールゲートリフタ 技術分科会 (WEB会議)	①特装部会・総会の報告 ②協定規則最新情報の共有 ③バックカメラ義務化への対応検討
16日	常任委員会(当会会議室+WEB会議)	自動車工業4団体の取組みへの対応(案)論議
	第257回理事会 (当会会議室+WEB会議)	①審議事項 第1号議案 新入会員に関する件 第2号議案 自動車工業4団体新型コロナウイルス対策支援への拠出 ②報告事項 1) 2020年度事業計画本部・部会・支部別1/4期実績まとめ 2) 2020年度1/4期 収支実績まとめ 3) TC297/WG1・WG2の結果報告 4) 商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況 5) 税制改正に関する要望 6) 最近の商用車販売及び会員生産台数 7) 最近の官公庁情報 8) その他報告事項

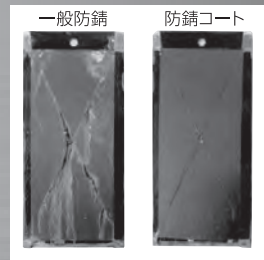
7月

16日	環境対応事例発表会 (東京+WEB発表)	発表テーマ数：4件 アマタ(株)、日本トレックス(株)、ジェイ・バス(株)、環境委員会 (参加者：87名) ▶P.3
17日	バス部会／業務委員会(WEB会議)	新型コロナウイルスによるバス事業への影響について情報交換
21日	中央技術委員会／ 突入防止装置技術委員会(WEB会議)	7月28日実施のUN-R58-03説明会に向けた打ち合せ
	特装部会／ サービス委員会(WEB会議)	① メンテナンスニュースNo.50(作動油交換とグリス給油) 検討 ② 各社のコロナ対策について情報交換
22日	バス部会／ ワンマン機器小委員会(WEB会議)	① JABIA規格(運賃表示器、乗降中表示灯)改正内容の確認 ② 後方視認装置(バックカメラ、モニター)性能要件整理 ③ バス車体規格集2021年版発行に向けた変更内容の確認
27日	トレーラ部会／ 製品安全委員会(WEB会議)	① 点検整備記録簿活用状況ヒアリング活動進め方検討 ② 適正な交換部品使用訴求に向けたアイデア検討
28日	協定規則第58号第3改訂の説明会 (WEB会議)	突入防止装置に適用される協定規則第58号第3改訂及び当会が 制度化する新JABIAリベット制度の説明 (参加68社・93回線) ▶P.9
29日	トレーラ部会／ サービス委員会(WEB会議)	① 定期点検整備の手引き改訂の方向性検討 ② 自動車検査官講習(7/14実施)トレーラ講義内容共有
30日	バス部会／ 塗装デザイン研究会(WEB会議)	バス車体用塗色見本帳2022年版での新色追加等の意見交換
31日	資材部会／役員・幹事会(WEB会議)	① 1/4期の事業報告 ② 下期事業計画についての意見交換

8月

	特装部会／塵芥車分科会(WEB会議)	ISO-TC297結果報告と今後の対応検討
4日	バン部会／技術委員会	① 冷凍機付自動車取扱いの手引き／バン型車に関する用語改訂の進捗状況共有 ② 安全輸送ニュースNo.4作成進捗状況の共有 ③ 荷台昇降設備・装備の厚生労働省への説明内容の共有と今後の対応論議
5日	中央技術委員会／バックカメラ義務化 対応WG(WEB会議)	① 協定規則最新状況の共有 ② 視野要件への対応検討
	トレーラ部会／業務委員会(WEB会議)	① ROC動画ナレーター選定 ② トラック協会講演関連情報共有(感染症拡大時対応)
20日	トレーラ部会／技術委員会(WEB会議)	① R141(TPMS)、R142(タイヤ取付)情報共有 ② 多仕様制度移行の情報共有
21日	トラック部会／技術委員会(WEB会議)	① バックカメラ義務化に向けた取付位置調査の進捗報告 ② 安全点検整備の追加車型絞り込み
	トレーラ部会／ サービス委員会(WEB会議)	① 定期点検整備の手引き改訂の方向性検討 ② 水害車両のサービスニュース作成検討
24日	安全衛生活動WG(WEB会議)	① 会員各社で発生した労働災害事例の研究実施 ② 会員が活用できる労働安全チェックシートの作成
	トレーラ部会／ 製品安全委員会(WEB会議)	① 点検整備標準作業点数表の周知活動検討 ② 点検整備記録簿活用状況のヒアリング活動検討
25日	特装部会／サービス委員会 (WEB会議)	メンテナンスニュースNo.51(車両と架装物の締結)検討
26日	バス部会／ ワンマン機器小委員会(WEB会議)	① JABIA規格(運賃表示器、乗降中表示灯)改正内容の確認 ② 後方視認装置(バックカメラ、モニター)性能要件整理 ③ バス車体規格集2021年版発行に向けた変更内容の確認
28日	第2回広報委員会(WEB会議)	① 2020年度事業計画進捗の確認と論議 ② 車体ニュース秋号の校正と冬号の企画論議

錆をシャットアウト！ ハイアートCBエコ 防錆コート



※JIS K5600.7.1
塩水噴霧試験(1000時間)

3つのパワーで鉄壁ガード！

① 高い防錆力！ ② 耐チッピング性を付与！ ③ 防振・防音効果！



走行に大事な足回りが



錆でこうなる前に



しっかりガード!!

全国どこでもテスト施工受付中。

塗装で車両の価値UP!! 長持ちさせます!!
お気軽にお問い合わせください。

荷台木部（スピトン等）を護る！ ウッドプロテクト

工法特許
出願中

木部の劣化を防ぐ!!

他工法と比較して
圧倒的低コスト!!

施工は簡単!!



Before



After



イサム塗料株式会社

営業企画部 大阪市淀川区三津屋南 3-9-8

TEL : 06-6838-4136



愛宕 康平 代表取締役社長



DATA

- 本社 〒879-0105
大分県中津市大字犬丸2473番地
TEL 0979-32-5566
FAX 0979-32-4522
URL <http://www.atago-body.co.jp/>
- 資本金 5,000万円
- 従業員 77名
- 事業所規模(本社工場)
敷地 約25,120㎡
建坪 約4,081㎡
- 車体工業会加入
2013年(トラック部会)



ATAGO BODY®
愛宕自動車工業株式会社



愛宕自動車工業(株) 安全と物流を創造する テクニカルファクトリー

大分県と福岡県の県境に位置し、中津からあげや鰻料理で全国的に有名な中津市。広大な敷地に多くの専用設備を備え、今も進化を続ける愛宕自動車工業(株)は、今年で創業90周年を迎えた老舗企業である。

取材／車体工業会業務部長 小森 啓行

● 特徴・沿革

1930年、創業者である愛宕治雄氏が大分県中津市中殿町に「愛宕ボデー」を設立、昭和から平成にかけて、時代のニーズに応じた車体の製作・架装・メンテナンス・販売を行い、事業を拡大していった。1994年に愛宕自動車工業(株)に組織変更し、工場や設備の拡充をさらに進め、現在の工場敷地面積は7,600坪を誇る。

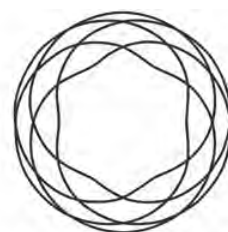
メーカー車の二次架装をはじめ、長い経験と実績で、顧客の必要に応じたオーダーメイド架装の検討や、軽量化、強靱度を追求した部材の構成の提案等も得意としている。

移動販売車のような小型車から、大型のトレーラセットまで、専用設備を生かした高い技術力で、様々な架装業務を数多く手掛けている。

オリジナル製品の開発にも積極的に取り組み、「エコロジーボックス®」は特許を取得し、2017年にはグッドデザイン賞を受賞した。安全でタフな製品として好評を得ている。

また、長年培ってきた防錆・塗装技術を生かして、老朽化したキャリアカーの塗装を完全に剥離し、腐食や亀裂などをすべて補修するリニューアルサービスも提供している。

指定整備事業者として、車検・定期点検・各種修理にも対応。中古車両の買取と販売も行い、完全なワンストップサービスを実現している。



地域未来牽引企業

製品

一 御社の業務の特徴についてお聞かせください。

トラック・車両メーカー4社、国内外の輸送用機器メーカー27社と業務提携し、内製化を進め自動車総合車体整備において、ワンストップサービスを実施しています。

トラック図書館「移動図書館車」や移動博物館車、移動販売車、家畜運搬車、平ボデー、幌ウイング車等、用途に合わせた特装車をオーダーメイドで製作・販売しています。

車検・定期点検に加え、分解整備や事故車両の钣金修理、大型トラックのフレーム修正、大型レッカーサービスや出張サービスカーの出動により、お客様をしっかりサポートしています。

自社開発製品である「エコロジーボックス®」は250台を超える出荷



GOOD DESIGN AWARD 2017

一 どのような製品を手掛けているのでしょうか？

オリジナル自社製品である「エコロジーボックス®」は、オープントップ型金属製輸送用コンテナで、法令を守る安全な製品、タフで長持ちする経済的な製品です。当社従来比で積載量を25%アップでき、全国で評価され始めています。2017年にグッドデザイン賞も受賞いたしました。

「キャリアカーリニューアル」は老朽化した車体を再生するだけでなく、実用新案技術である長尺管内防錆塗装スプレーガンで角パイプの内側を塗装し、製品寿命を大幅に延ばすことができます。



Before



After

キャリアカーのリニューアル

一 御社の経営方針は？

1930年創業以来「トラック輸送の合理化を目指し、安全と物流を創造して社会へ貢献する」という経営方針を掲げ、その時代に応じた車体の製作・架装・メンテナンス・販売業務に邁進して参りました。今後も自動車総合車体整備業として、技術の革新に努め、お客様へ高品質・高付加価値な製品をお届けできるよう、一層の努力を重ねる所存です。



様々なオーダーメイド架装を手掛けている



九州国立博物館へ
オリジナル移動博物館(広報車)
「きゅーはく号」を納入

人

一 御社の特徴は？

社是・社訓を毎朝唱和し、「良い仕事を早く」をモットーに業務にあたっています。5S活動も活発で各課毎にテーマを決め、計画性を持って改善を行っています。資格取得奨励制度

を採用し、社員は前向きに資格を取得して、数多くの従業員が複数の資格を所持しています。

一 次世代の教育について

ものづくり企業にとっては、技術の伝承は不可欠となります。一旦定年退職した社員を、技術伝承担当と位置づけ若手社員がいつでも気軽に尋ねることのできる体制をとっているほか、



基礎技術の習得を支える社内研修場「職人道場」を開催しています。

将来を見据えた外国人実習生との協働も大切にし、従業員同士のコミュニケーションは良好です。



水性塗料で環境と健康に配慮

アクサルタ コーティング システムズ合同会社

アクサルタ コーティング システムズ合同会社は、米国デュポン社の塗料部門が、2013年にスピンオフした自動車用塗料メーカーである。その起源は1866年創業の独ハーバート社まで遡る。150年に亘り、自動車塗料・塗装システム開発を手掛け、補修用塗料・システムを供給するほか、OEMで新車用塗料を自動車メーカーに提供し、売上高の半分以上を自動車向け塗料が占める自動車用塗料のトップメーカーである。同社で扱う塗料は、デジタル測色機と700万色以上の調色データベースで、世界中で全く同じ色を再現でき、整備工場での作業効率を向上させている。

VOC規制が厳しい欧州では、鉄道やバス等の公共輸送機関の車内・車外をはじめ、自動車・商用車、産業機械等、様々な分野において、塗料の水性化が進んでいる。

一方、日本国内においては、建築分野や新車乗用車では水性塗料が普及してきているが、自動車補修や商用車では溶剤系の使用が多い。環境と健康の両面において、今後は水性塗料への切り替えも進めていかなければならない。

水性塗料への抵抗感

2000年頃から欧州で水性塗料が普及し始め、日本にも2004年には自動車用水性塗料が上陸していた。水性塗料は湿度の影響を受けるため、季節や環境によって粘度や塗装器具の調整が必要となる点から、水性系塗料への否定的な先入観も多く、当時の日本では溶剤系塗料から、水性塗料へと移行する機運が大きく高まることはなかった。

溶剤系塗料を超えたIMRON™ Hydroシリーズ

アクサルタ社が展開する塗料「IMRON™」シリーズの中でも、EU規制に対応した水性塗料「IMRON™ Hydro」は、

溶剤系塗料と同等以上の高外観と耐久性を実現し、水性塗料への否定的な先入観を覆す製品となっている。

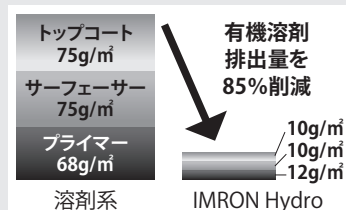
顔料の高濃度化・高分散化技術によって、下地の色を隠す隠蔽性能が非常に高く、基本的に2度塗りで塗装を完了でき、作業者の疲労を軽減し、生産性を向上させる。24色の原色を揃え、調色であらゆる色を作り出すことができる。プライマーからトップコートまで水性系製品で揃えている。

周辺環境や作業者の健康を守る

溶剤系塗料と異なり、刺激臭や有毒ガスを発生しないため、作業者の健康被害を軽減することができる。専用の塗装室や器具を用意する必要もなく、作業後の器具類の清掃も水道水で洗い流すことができ、溶剤の洗浄液も不要となる。水性塗料に切り替えるだけで、VOC排出量を85%も削減することができる。

保管場所や量においても、消防法の制約を受けることもない。ただし、氷点下になると凍結して変質するおそれがあるので、寒冷地では注意しなければならない。

最近になって、日本国内で「IMRON™ Hydro」に関しての問い合わせが増えてきているという。社会全体の環境意識が高まり、人手不足の慢性化で経営者が従業員の健康により配慮することも重要になっている。溶剤系塗料を使用している現場には、水性塗料で本当に大丈夫なの?という不信感も残っていることもあるが、アクサルタ社では栃木県宇都宮の訓練センター内や顧客の現場に出向いて、随時実演を行っている。多くの顧客が水性塗料の作業性の良さと、想像以上の高外観と高耐久性に驚くという。



今井 博英

自動車補修・工業用塗料部
アジア地区 カラー&トレーニング
担当課長

斎藤 友良

自動車補修用塗料・
工業用塗料部
営業統括部長

松本 乾

自動車補修・工業用塗料部
プロダクトマネージャー

アクサルタ コーティング システムズ合同会社

代表取締役社長 上野 啓

革新的、カラフルで、美しく持続可能な
ソリューションをお客様に提供します。



【本社】〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー4F
Tel : 03-6891-0230 https://www.axalta.com/jp/ja_JP.html

私たちは資材部会を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会13グループからなる「ビジネスネットワーク」を設置しております。この「ビジネスネットワーク」は会員の強い連携と結束を実現し、架装メーカーに対して、積極的な協力体制を目指しています。

「VOICE」では、部会会員会社の紹介や製品が開発されるまでのエピソード等を紹介していきます。

新型コロナウイルス感染症対策関連製品のご紹介 お問い合わせは各社の窓口へお願いいたします。

■株式会社デサン Tel. 048-651-1881 埼玉県さいたま市北区大成町4-140 <https://www.dessin.co.jp/>



■株式会社星光商会 Tel. 03-3585-2300 東京都港区赤坂3-21-20 <https://seikoshokai.co.jp/>

各種サイン・ステッカーを取り揃えております。またホームページから無料のテンプレートをダウンロードできます。



■イサム塗料株式会社 Tel. 06-6836-4136 大阪市淀川区三津屋南3-9-8 <http://www.isamu.co.jp/>

抗ウイルス・抗菌塗料

無償提供いたします!



ご提案内容

- ①ご希望頂いた会員様を対象に100㎡分の塗料を、無償提供いたします。
- ②会員様1社につき事業所1カ所とさせていただきます。
- ③自社にて塗装される場合には弊社社員が訪問し、ご指導させていただきます。
- ④専門業者塗装をご希望の場合は弊社からも工事請けにて御見積りをご提出させていただきます。

お問合せは上記まで!



知りたい

「どうなっていくの物流は？」

そこが

第46回

生活や経済活動にとって物流は必要不可欠なもので、書いて字のごとく、あらゆるものが整然と流れていくことである。人間の血液に例えられることがあるが、まさしくそのとおりだと思う。今回は物流の現状とこれからどのように変わっていくのかについてトラック輸送を中心に報告する。

Q1

国内でのトラック輸送量は変化しているの？

生活様式の変化や産業構造の変化がトラック輸送量に影響している。特に、EC (electronic commerce) と言われる電子商取引では、インターネット等による通販の利用が宅配の拡大に繋がっている。ECの拡大は小口・多頻度配送の増加、物流件数の増加となるものの、貨物1件当たりの貨物量は減少している。

<特別積合せ貨物>

【出典：国土交通省トラック輸送情報より作成】

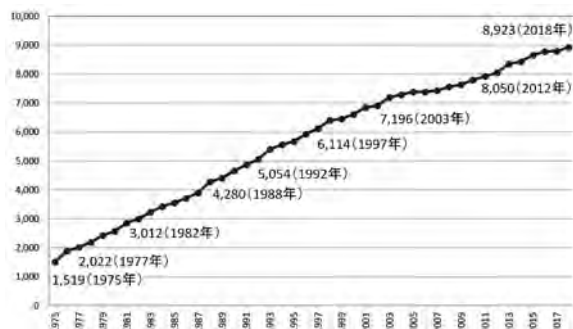


Q2

トラック輸送を支えるインフラは？

国内の物流を隅々までカバーするトラック輸送の安全確保、効率向上を図るため高速自動車道の整備やトラックステーション、トラックターミナルの整備が進められている。

<高速自動車国道年度当初供用延長>



【出典：国土交通省道路統計年報より作成】

全国26か所に設置されたトラックステーション (TS)



施設内の様子



トラックステーション 公益社団法人全日本トラック協会の計画に基づき、公益社団法人全日本トラック協会施設事業部が建設・管理・運営するトラックステーションは、トラックの長距離運行に欠かせない安全運行をサポートする施設。

【出典：公益社団法人 全日本トラック協会HP】

京浜トラックターミナル(東京都大田区平和島)



1968年(昭和43年)に供用が開始された京浜トラックターミナルは、平和島インターから500mの立地で、東京ドーム約5個分の敷地面積を誇る国内最大のトラックターミナル。



京浜、板橋、葛西トラックターミナルに整備された物流センターは、商品の一時保管拠点として、また、商品の加工・包装等の作業を行う流通加工拠点として、ジャストインタイムや多頻度小口化といった様々なニーズに対応。

【出典：日本自動車ターミナル(株)HP】

Q3 これからの物流効率化に向けた取組みは？

国土交通省は物流総合効率化法(流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律)に基づき取組みを行っている。

<物流総合効率化法の概要>

流通業務(輸送、保管、荷さばき及び流通加工)を一体的に実施するとともに、「輸送網の集約」、「モーダルシフト」、「輸配送の共同化」等の輸送の合理化により、流通業務の効率化を図る事業に対する計画の認定や支援措置等を定めた法律。

国土交通省では、昨今の物流分野における労働力不足や荷主や消費者ニーズの高度化・多様化による多頻度小口輸送の進展等に対応するため、同法に基づき、「2以上の者の連携」による流通業務の省力化及び物資の流通に伴う環境負荷の低減を図るための物流効率化の取組みを支援している。

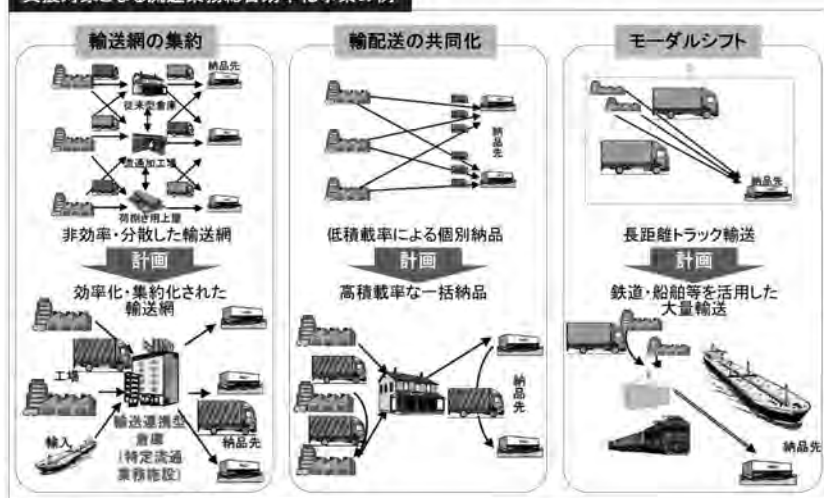
目的

- ・我が国産業の国際競争力の強化
- ・消費者の需要の高度化・多様化に伴う貨物の小口化・多頻度化等への対応
- ・環境負荷の低減
- ・流通業務に必要な労働力の確保

制度の概要

2以上の者が連携して、流通業務の総合化(輸送、保管、荷さばき及び流通加工を一体的に行うこと。)及び効率化(輸送の合理化)を図る事業であって、環境負荷の低減及び省力化に資するもの(流通業務総合効率化事業)を認定し、認定された事業に対して支援を行う。

支援対象となる流通業務総合効率化事業の例



支援措置

- ① 事業の立ち上げ・実施の促進
 - ・計画策定経費・運行経費の補助
 - ・事業開始に当たっての、倉庫業、貨物自動車運送事業等の許可等のみなし
- ② 必要な施設・設備等への支援
 - ・輸送連携型倉庫への税制特例
 - 法人税: 割増償却10%(5年間)
 - 固定資産税: 課税標準1/2(5年間)等
 - ・旅客鉄道を活用した貨物輸送への税制特例(貨物用車両・搬送装置)
 - 固定資産税: 課税標準2/3(5年間)等
 - ・施設の立地規制に関する配慮
 - 市街化調整区域の開発許可に係る配慮
- ③ 中小企業者等に対する支援
 - ・信用保険制度の限度額の拡充
 - ・長期無利子貸付制度等

【出典：国土交通省HPより作成】

Q4 ドライバーの労働環境は？

2018年度の厚生労働省「賃金構造基本統計調査」、「賃金構造基本統計調査」によるとトラックドライバーの年間所得額は、全産業平均と比較して、大型トラック運転者で約1割低く、中小型トラック運転者で約2割低く、年間労働時間は、全産業平均と比較して、大型トラック運転者・中小型トラック運転者とも約2割長い。

これらへの対策として物流の生産性向上を図るため、ダブル連結トラックや弊会もガイドライン作成で連携させていただいたスワップボディコンテナの導入、さらにトラック隊列走行の実証実験が進められている。ダブル連結トラックでは、1台で2台分の貨物が輸送可能となり約40%のCO₂排出量の削減も可能とのこと。また、スワップボディコンテナは物流施設の活用ではトラック到着前から荷役を行うことができ、積載率の向上も図られ、トラック台数を削減。中継輸送での活用では荷台を交換することで日帰りでの勤務が可能となり、労働環境の改善にも繋がっている。

Q5 将来の物流は？

社会生活ではラストワンマイルの物流(配送)の効率化が重要。日本郵便や宅配事業者はドローンを活用した物流を検討し、一部実証実験を行っている。また、自動走行ロボットによる実証実験が9月以降に行われるとの報道もある。

大量輸送中心の拠点間物流での効率化への取組み、そしてラストワンマイルの個人向け配送の取組みがそれぞれ進展していく中で、現在の課題が解決されていくものと思われる。車体架装としての我々の取組みも革新していかなければならない。



【出典：日本経済新聞電子版】

第30回：新型コロナウイルス感染症対応車両等の紹介

自動車工業4団体※は、4月10日の合同会見にて、自動車業界として、新型コロナウイルス危機の克服と復興に貢献していく決意を表明し、「医療現場をはじめ、新型コロナウイルスの脅威と闘っている方々のお役に少しでも立ていきたい」「自動車業界としての互助的な仕組みも取り入れながら、未来に向けて失ってはいけない技術・人財を守り、日本のモノづくり基盤を死守していきたい」という想いで、業界一丸となった取組みを進めることを表明した。

取組み内容は、日本自動車工業会のホームページ(<http://www.jama.or.jp/covid19/>)に掲載されており、当会のホームページのバナーからも確認することができる。その中から、車体工業会会員企業の取組みを中心に紹介する。

※自動車工業4団体：日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会

1. 重症者向け感染患者移送車両

1-1. 札幌ボデー工業(株) トライハート(1992年より製造を開始し、現在が三代目)

- ・CDC(アメリカ疾病予防管理センター)ガイドラインに準拠した隔離病棟用の本格的な陰圧※装置を患者室に装備
- ・粉塵を取り除き温度調整した上で車外からフレッシュエアを患者室内に吸入する。HEPAフィルター(High Efficiency Particulate Air Filter)付き排気ユニットを後方2か所に分散装備することで汚染された空気溜まりができないよう車外排気する構造
- ・運転室後部に隔壁扉を装備し、運転室と患者室は完全に遮断することが可能
- ・患者室内は通常救急車と同じレイアウトになっており、特殊救急車という名称だが普段使いが可能な仕様となっているほか、体格の大きい外国人に対応できるストレッチャーと防振架台を備えている

※車外より気圧を低くして車内の空気が外部に漏れ出ない状態のこと



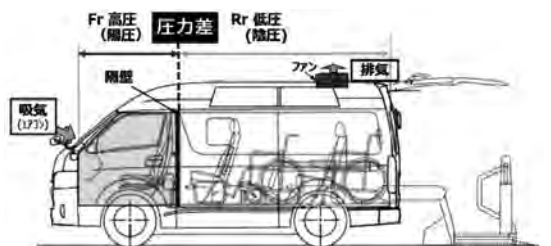
外観 (株)赤尾ホームページより引用



内装 (株)赤尾 ホームページより引用

1-2. トヨタ車体(株) ハイエース車いす仕様車(ウェルキャブ)を改造(改造は(株)東海特装車が担当)

- ・車いすに乗ったままの乗車と、ストレッチャーごと医療機関へ搬送することが可能
- ・搬送時における感染リスクを削減するため、運転席・助手席のある車両前方スペースと後部座席以降の後方スペースの間には、冷凍車バンで使用している隔壁を設置
- ・後方の空気が前方に循環しないよう、排気ファンで後方の空気を常に外部に排出



ハイエース車いす仕様車をベースに改造
写真提供：トヨタ車体(株)

1-3. その他 本田技研工業(株) ODYSSEY/STEP WGNを改造

- ・搬送時の感染リスクを削減するため、運転席と後部座席に仕切りを設置。前後席間の圧力差を利用して、飛沫感染を抑制する構造

2. 軽症患者(感染患者)向け移送用車両

2-1. トヨタ自動車東日本(株) JPN TAXI、シエンタ改造用の感染者搬送用車両架装キットを設定

- ・運転席・助手席のある車両前方と、後席のある室内後方との間に、後付けで仕切りが設置できる架装キットを設定し、販売各社、タクシー業者、他に作業手順・ノウハウを提供



架装キット



車両装着状態

写真提供：
トヨタ自動車東日本(株)

2-2. 日産車体(株) NV350キャラバン スーパーロング ハイルーフ標準幅10人乗りを改造(改造は(株)オートワークス京都が担当)

- ・運転席と客室の隔壁にガラスとスクリーンの二重シール構造の窓を採用
- ・客室を負圧にするため後部に排気ファンを設置



NV350キャラバンをベースに改造 写真提供：日産車体(株)

2-3. (株)オーテックジャパン NV200 バネット タクシー LPG バイフューエルを改造

- ・前席と後席の間に、隙間を少なくした専用の仕切りカーテンを装着
- ・フロントエアコンを外気導入に固定し、新たに車両後部より空気を排出する機能を追加、車内前方から後方に向けた空気の流れを生み出す構造に変更



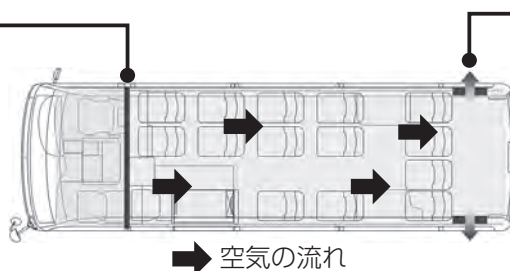
NV200タクシーをベースに改造 写真提供：(株)オーテックジャパン

2-4. 中京車体工業(株) コースター・リエッセⅡを改造(2020/7のバステクフォーラムに出品)

- ・ドライバー後部に簡易的な仕切りを設置し飛沫をブロック
- ・排気ファンにより客室内を負圧に保ち、運転席から客室にむけて空気の流れを作る

写真提供：中京車体工業(株)

PET樹脂製運転席仕切り(開発中)
(ビニールカーテン仕様も可能)



HEPAフィルター付き
ファンフィルターユニット採用



2-5. その他 マツダ(株) CX-8を改造

- ・前席と後席の間に隔壁を設け、医療従事者が座る前席を正圧、患者が座る後席を負圧にする空調システムを設け、感染リスクを下げる

3. PCR検査車両

豊田合成(株)が東京都医師会、名古屋大学病院に車両提供、当会会員の(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメント(TCD)が車両改造を担当

- ・隔壁越しに検体を採取でき被検者と医療従事者の隔離が可能
- ・運転室後部にも隔壁を設置、HEPAフィルターユニットを介しスポットクーラーで外気を導入することで陽圧空間を確保



PCR検査車 写真提供：(株)TCD

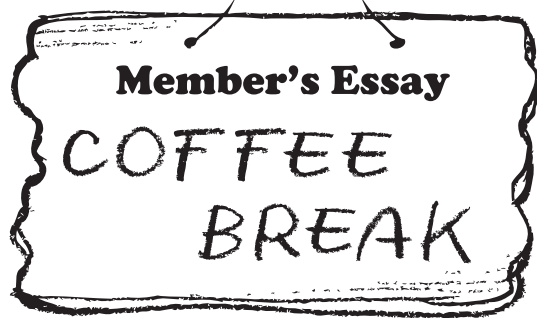
4. 救急車用部品の生産

(株)トヨタカスタマイジング&ディベロップメント(TCD)が、ストレッチャー取付式簡易アイソレーター『e capsule』を2020年6月1日より全国で発売

- ・内部からの排気にULPAフィルター(Ultra Low Penetration Air Filter)を介し、搬送時の感染リスクを低減
- ・可搬性向上のため、車両電源以外に乾電池駆動にも対応
- ・感染者を収容するビニールカバーを単回使用とすることで、二次感染リスク低減
- ・ストレッチャーに簡単取付(ファーノ製#9304、#4155+4080/S 取付確認済)



e capsule 写真提供：(株)TCD



サボテン兄弟

トヨタ自動車東日本(株) ものづくり組立研鑽部 いしかわ たくや 石川 拓也

皆さんメキシコというとどんなイメージをお持ちでしょうか。

照りつける太陽に焼かれ乾ききった大地、立ち並ぶ無数のサボテン達。その中をオフロードバイクが砂塵を上げて駆け抜ける... そんなイメージに憧れた私が、西部のバハカリフォルニア半島を数年前の年末にツーリングで訪れた際のお話しをご紹介します。

約1週間の滞在でしたが、日頃の行いから乾季にも関わらず、雨に降られなかった日はたったの1日。



メキシコの青空を背景に愛車と筆者

アメリカから陸路で入国した途端に酷いスコール。冠水している道路の水を掻き分け進むところから始まりまして。

2日目、朝のうちは晴れていました。憧れのラフロードに飛び込み奥地まで進んだところで天気急変スコール到来。それ



へばり付いた泥を落とす

まで硬く締まっていた赤土は、みるみるうちに砂利交じりの泥に。その中を走れば容赦なくタイヤにへばり付き、直ぐに車輪も回らなくなります。

仕方なく泥を掻き落として再発進しても数メートル進むとすぐ詰まる。延々その繰り返しです。

休憩もしたいのですが、降り続く雨の中、サボテンでは雨宿りできないことに気がきます。

しかし進むにも戻ろうにも、この泥の中ではどうしようもありません。

そこでやむを得ず道を外れサボテンの中を進むことに。もちろん生きている植物を踏みにじるのは忍びなく、枯れて真っ黒に変色しているエリアを狙って走ります。泥の付着が抑えられるので泥道よりも進みます。枯れサボテンが無いところは相変わらず泥中行軍でしたが、半日かけて何とか舗装路まで脱出できたのはギリギリ日没前。

ホッとしたのも束の間、枯れたサボテンの棘は植物とは思えないほど硬く、その上を走ったタイヤは案の定パンクしていました。

薄暮の中、泥まみれの日本人がバイクを横倒しにしてパンク修理をする姿は、道を過ぎゆく現地のドライバーの



サボテンの棘でパンクしたタイヤを修理

目にどのように映っていたのでしょうか。

連日そんなことばかりでしたが、今となっては良い思い出です。機会を作ってまた訪れたいと思っています。

ちなみに冒頭、滞在中1日だけ雨に降られなかった日があったとお伝えしましたが、その日はまさかの積雪路面に阻まれて予約していた宿にたどり着けず、野宿を覚悟したお話しはまたの機会に！

990スーパーモトR

(株)柳田自動車工業所 架装 せんすい ようすけ 泉水 陽介

今の愛車(通称 990 キューキューマル)を知ったのは、5年くらい前になる。それまでは、ネイキッド系^{※1}、ツアラー系^{※2}と国産車は何台か乗ったが、外車には興味がなかった。しかしコイツに出会って衝撃を受けた。当時モタード系^{※3}のバイクが気になっていて、国産車には大型モタードがなく、インターネットや雑誌などで探していたところ、コイツを見つけた瞬間、体に電気がビビッと走る感じで一目惚れしてしまった。当時、全国に3台しかなく、取り扱う店が自宅からも離れていたのも、どうしようかと迷っていたところ最後の1台になってしまい、ヤバイと思って直ぐに電話し、新幹線を使って見に行った。それが今の愛車となった。

一番のお気に入り、スタイルもいいが何といても街中で同じ車両を見ることがないこと。人と同じものが嫌な



愛車「990スーパーモTR」と筆者

自分にはピッタリだ。休みの日にパーツを付けたり、洗車をしたり、乗っているときも楽しいが、いろいろといじったり、眺めているときが何よりも楽しい。乗り味は、V型ツインエンジンで、今まで乗った国産車にはないパワフルで、トルクが凄い。1速で軽くアクセルをあおると、フロントが浮いてしまうほどだ。とにかく自分にとってサイコーのバイクだ。一方で短所は燃費が悪くハイオク仕様なところ。購入してから3年ほどとなるが、コイツとは長い付き合いになりそうだ。「イエス！」



- ※1 カウルを剥いだモデル
- ※2 長距離や高速道路に適したモデル
- ※3 オンロードのタイヤを履いたオフロードバイク

愛車の限界に挑む

クラリオン(株) OEMバス営業部 伊藤 晴哉^{いとう はるや}

若者の車離れ、免許取得率の低下が叫ばれる世間の流れに反するように、私はサーキットでの、スポーツ走行に熱中しております。

元来車は好きでしたが、せいぜいドライブに行く程度で、サーキットを走ったことはありませんでした。現在の愛車が納車されて半年程度経った頃に、友人に誘われて初めてサーキットでの走行会に参加しました。初走行ということもありタイムは振るわなかったものの、車を操る楽しさとその奥深さと公道ではできないシビアにタイムを突き詰める快感にすっかりハマってしまいました。

現在は3か月に一度、友人と関東圏のサーキットで走行会に参加し、タイムアップを目指しています。先



疾走する愛車

日の走行会では、昨年の初走行の時と比べて、3秒近くタイムを縮めることに成功しました。実際にコースインするについつい熱くなってしまうがちですが、アクセル・ブレーキ・ステアリングの操作が一つでも雑になるとタイムアップは望めませんし、ただガムシャラに走り続けても車に負担をかけてしまいます。また、コース内には他の参加者の方でも走行しているので、常に周りを見ながら冷静にアタックしなければなりません。愛車の性能を最大限に発揮するためのメンテナンスも当然必要となります。ドライバーには技能・思考力・協調性など様々な要素が求められます。(これはサーキットに限った話ではないと思います)

このように難しい状況で、自らのベストタイムを更新したとき、またライバルのタイムに勝ったとき



格上の車と走ることもしばしば

の気持ちよさは何物にも代えがたいものです。レースではありませんが、勝ち負けがタイムでハッキリとわかるのも自分には非常に魅力的です。

愛車のアコードは既に13年落ち、走行距離10万キロ超のご老体。負担のかかるスポーツ走行ですが、メンテナンスを怠らず、これからも愛車と共に自らの限界に挑戦していきたいと思っています。



愛車を整備する筆者

新企画！第3回

会員の誰もが参加できて、SNSの投稿記事を見るような楽しい記事を掲載していきます。皆様のご参加をお待ちしております。

いどばた会議

私の生き生き健康ライフ ～睡眠編～

冷感枕カバーで快適のはずが？！

(株)東海特装車 くらとも さちよ 倉友 佐智代

熱帯夜を乗り切るべく冷感の枕カバーを使用しています。しかし、就寝中も子供が寄ってきてあまり効果を感じませんが、今の年齢だけと思い、子供から元気を充電してもらい毎朝元気に起床しています!!



ホワイトノイズって…？



トヨタ自動車東日本(株) さかた ともみ 坂田 知巳

最近眠りが浅く感じられ、心地よいノイズで穏やかな眠りに誘うという「ホワイトノイズマシン」を、物は試しにポチッと買ってみました。元々静かな環境のためか？個人的な相性なのか？マシンが発するノイズが気になって反って眠れません…

※あくまで個人の感想です

癒しのキャンドルで熟睡

日産車体(株) ^{みずま みお} 水間 美櫻

枕元にキャンドルを灯して寝ています。キャンドルの炎を眺めていると癒され、一日の疲れをほぐしてくれるように思えます。気分によってキャンドルの香りを変え、匂いも楽しみながら過ごす時間がとても好きです。



グズグズ 早寝早起き

日本フルハーフ(株) ^{しおみ りゅうじ} 塩見 隆児

子どもが二人となって、もうすぐ一年。ベビーベッドから移籍してきて、三人で寝ていたベッドにもう一人増えた。少し狭い気もするが、子どもを寝かせるという理由ができて、21時には寝ている。朝は、子供が起きるから一緒に6時頃に起きて、健康的な早寝早起きをしている。



私のルーティン

(株)花見台自動車 ^{さとう ほたる} 佐藤 蛍

お風呂上りに固まった体をストレッチしながらほぐします！

ホットアイマスクで目の周りを温めつつリラックスした状態になったら、お気に入りの毛布と抱き枕で熟睡間違いなし♪



高反発ウレタンマットレス

イサム塗料(株) ^{かわい じゅんぺい} 河合 純兵

結婚を機に今までベッドで寝ていた妻は畳に布団を敷いて寝ることになったのですが、疲れが取れず新婚早々もめていました。そこで出会ったのがマットレス。畳と布団の間に敷くことで抜群の快眠に。お勧めです。



ジェイ・バス(株)
総務部
よねなが けいしょう
米永 圭祥さん



我が社の



本所自動車工業(株)
営業部
えんどう たかふみ
遠藤 隆史さん



連携プレーで徐々に
片付けていった
達成感の良い経験

先輩に早く追いつ
けるように勉強して
いきたいです。

Q1 どんなお仕事ですか？

主に給与計算などの人事業務を担当しておりますが、毎月の勤怠管理や、福利厚生の見直し、時には社内規則の改定と、関わる業務はとても幅広いです。中でも、給与計算業務は、絶対に遅れやミスが起きてはいけない業務なので、日頃から責任をもって取り組むことを心がけています。

Q2 仕事で楽しいときは

担当する業務についての質問に対し、説明することができたときです。総務部として、勤怠や規則に関するご質問を受けることがあります。その時は丁寧にわかりやすく説明することを意識しています。

また、総務部に所属していると社内のいろいろな方からお話を聞けて楽しいです。

Q3 仕事でつらいこと

業務の特性上、時間に追われることが多いことです。毎月の固定的な業務に加えて、突発の事態にも対応しなければいけないので、その時は忙しくなります。また、ミスがあってはいけないのでその点、感じる責任は大きいです。

Q4 これまでの仕事の中で印象に残っている出来事は？

初めて年末業務を乗り越えたときです。私の所属する部署は、年末に近づくと毎月の給与計算に加えて、賞与計算・年末調整と、大変大忙しになります。莫大な量の業務を前に茫然としていましたが、連携プレーで徐々に片付いていく実感を得たときはとても達成感があり、良い経験でした。

Q5 御社のPRをしてください！

ジェイ・バス(株)は、お客様のご要望に沿ってオーダーメイドのバスづくりをする会社です。

また、古くなったバスの修繕や機能追加などのリニューアルについても、ご相談ください。

私たちジェイ・バス(株)は、これからも最高品質のバスを日本中にお届けし、人々の「移動」を支えていきます。

Q1 どんなお仕事ですか？

弊社では平ボデーの他、重機運搬車やウイング車など幅広いジャンルの中からお客様の用途に合ったトラックボデーを製作しています。私は営業を担当しており、お客様と製造現場の橋渡しとなるべくボデーの打ち合わせをして、納車まで行います。

Q2 仕事で楽しいときは

街中で弊社のボデーを架装しているトラックが走っているのを見ると、やりがいを感じます。私はまだ営業部へ異動して日が浅いので先輩方に同行して日々勉強をしています。いつか自分が打ち合わせしたトラックが、街中で見られる日がくるのを楽しみにしながら頑張っています。

Q3 仕事でつらいこと

弊社のボデーは、ジャンルが幅広く覚えることが多いです。営業はお客様の質問や疑問に対して即座に答えなければなりません。私がお客様と打ち合わせになったときに、分かりやすくお答えできるように勉強していきたいです。

Q4 これまでの仕事の中で印象に残っている出来事は？

お客様との打ち合わせでは、トラックディーラーの営業担当者と同行します。打ち合わせ後に、ディーラーの営業担当者が先輩に「本所自動車さんは説明が丁寧で助かります！」と言っているのを見て、私も早く追いつけるように努力しようと感じました。

Q5 御社のPRをしてください！

本所自動車工業(株)はお客様のご要望に合ったボデーを製作するために社員一丸となって頑張っております。今後も私たちはお客様に信頼されるメーカーであり続けるために取り組んでまいります。トラックボデーの相談は是非弊社をよろしく願いいたします。

2020年1月～6月 会員生産状況概要

① 合計

- ・ 1月～6月の累計台数は前年比22.9%減と、2年ぶりの前年割れ
- ・ 量産車・非量産車共に、新型コロナウイルスの影響により大幅な前年割れとなった

② 非量産車

- ・ 1月～6月の累計台数は前年比10.1%減と3年連続の前年割れ
- ・ 新型コロナウイルスの影響により、4～6月の落ち込みが大きく、特種車を除くすべての車両で前年割れとなった

③ 特装車

- ・ 1月～6月の累計台数は、前年比16.7%減と2年ぶりに前年割れ
- ・ 輸送系、作業系・その他、輸出向け、それぞれ同18.5%減、同7.7%減、同29.7%減

④ 特種車

- ・ 1月～6月の累計台数は、前年比24.3%増と2年ぶりに前年超え
- ・ 車いす移動車は同14.7%減となったものの、緊急用は同148%増となった

⑤ 平ボデートラック(除シャシメーカー標準トラック)

- ・ 1月～6月の累計台数は、前年比10.1%減と4年ぶりに前年割れ

- ・ 大型は同0.1%微減となったが、中型は同12.6%減、小型・軽は同17.8%減となった

⑥ バン

- ・ 1月～6月の累計台数は、前年比9.5%減と2年連続の前年割れ
- ・ 冷凍・保冷車は同13.4%減、バン(除く冷凍・保冷車)は同7.5%減

⑦ トレーラ

- ・ 1月～6月の累計台数は、前年比1.6%減と7年ぶりの前年割れ
- ・ バンが同11.0%増となったものの、平床・低床が同12.1%減、コンテナが同5.5%減、その他が同3.0%減

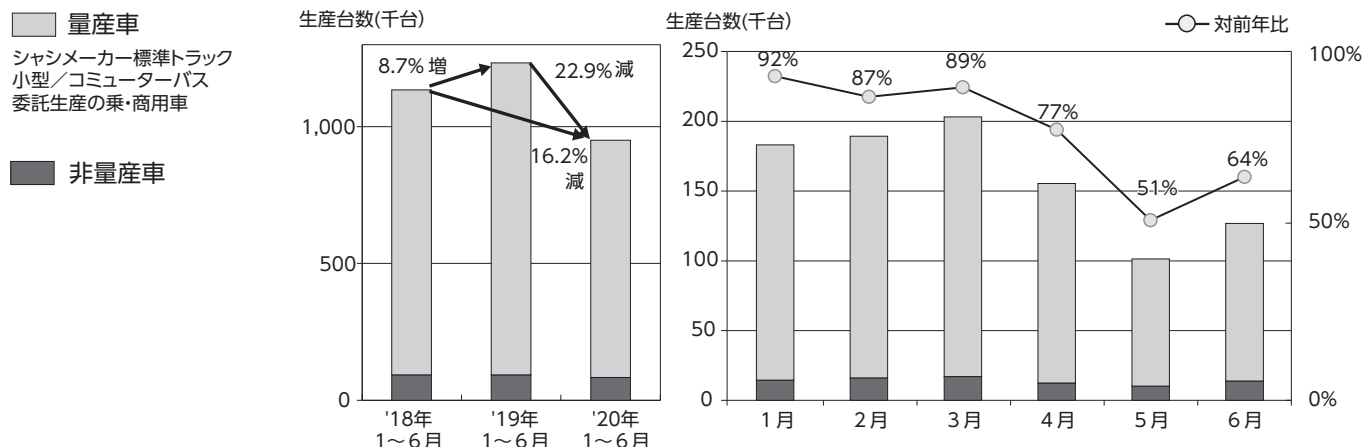
⑧ 大・中型バス

- ・ 1月～6月の累計台数は、前年比16.1%減と2年連続の前年割れ
- ・ 路線が同3.2%増となったものの、観光が同38.2%減、自家用が同20.9%減
4月以降、新型コロナウイルスの影響による観光、自家用の落ち込みが大きい

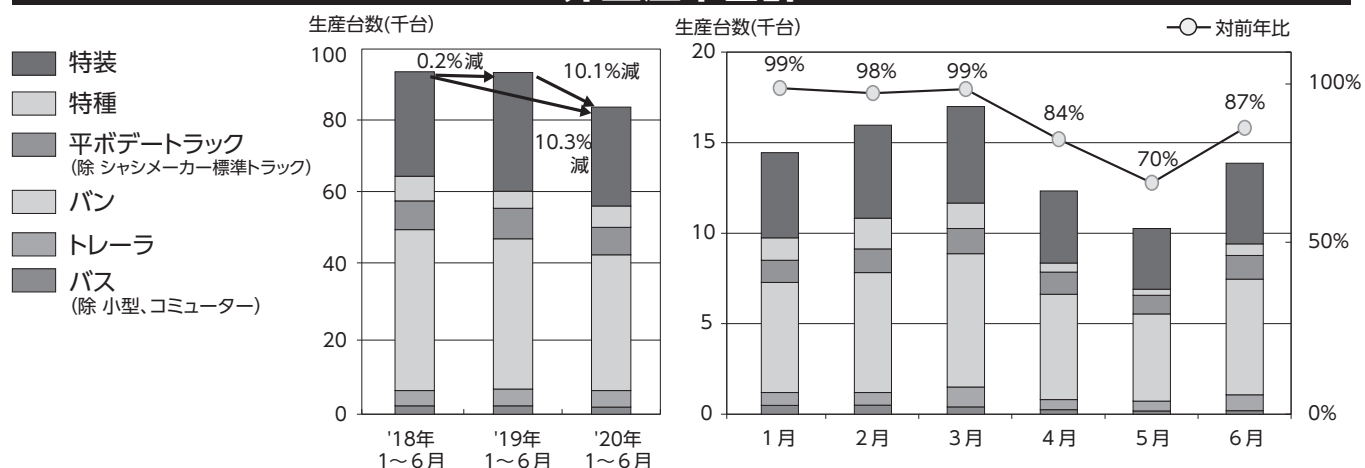
⑨ 乗用・小型商用・軽

- ・ 1月～6月の累計台数は、前年比23.8%減と2年ぶりに前年割れ
- ・ 国内向けは同25.7%減、輸出向けは同22.0%減となった

合計 (非量産車+量産車)



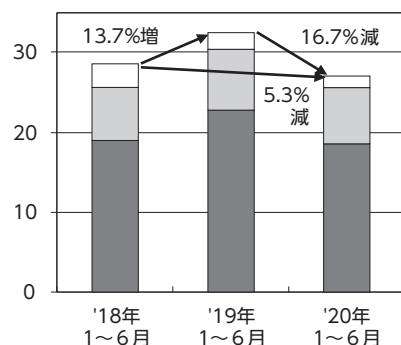
非量産車合計



特装車

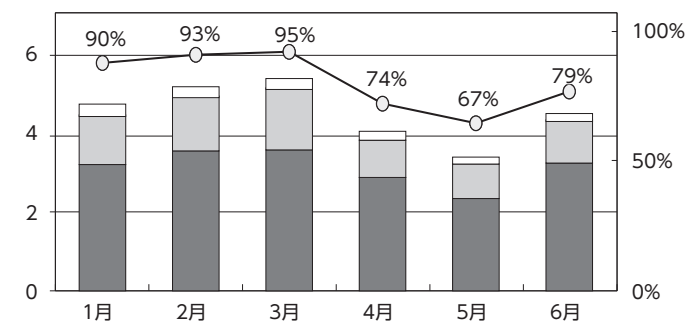
輸出
 作業系・その他
 輸送系

生産台数(千台)



生産台数(千台)

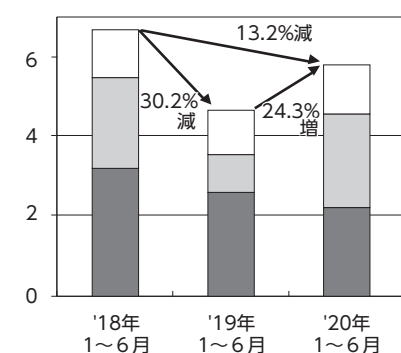
○ 対前年比



特種車

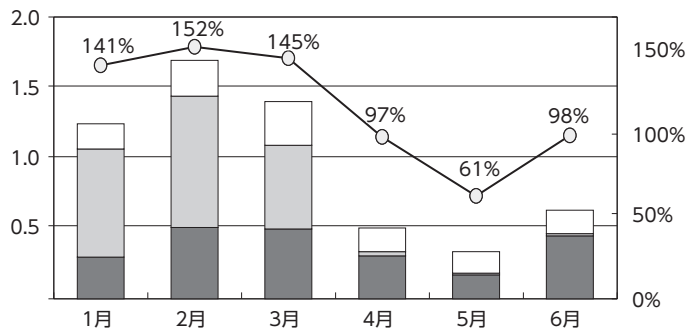
その他
 緊急用
 車いす移動車

生産台数(千台)



生産台数(千台)

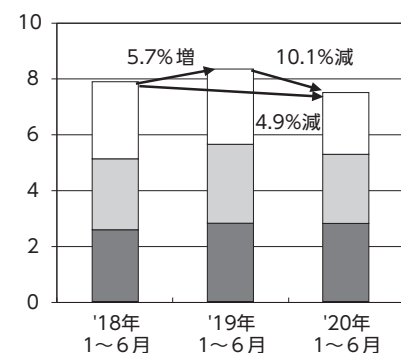
○ 対前年比



平ボデートラック

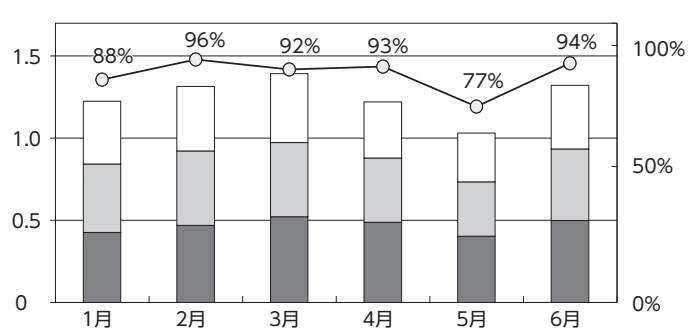
平ボデートラック
 (除 ジャシメーカー
 標準トラック)
 小型・軽
 中型
 大型

生産台数(千台)



生産台数(千台)

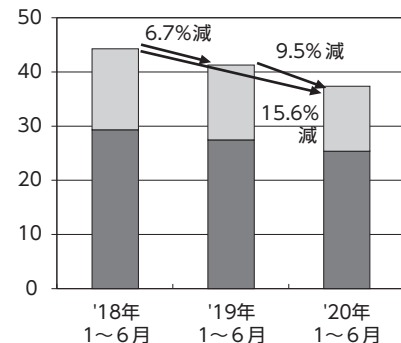
○ 対前年比



バン

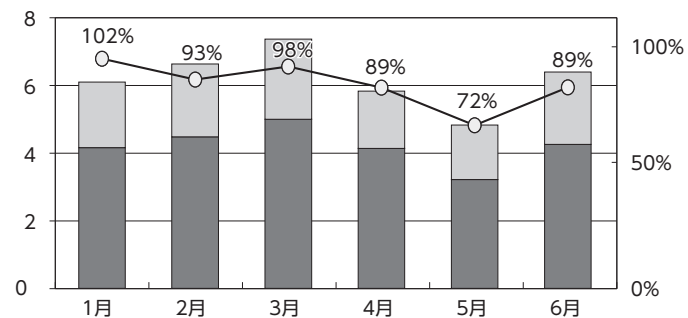
冷凍・保冷車
 バン
 (除 冷凍・保冷車)

生産台数(千台)



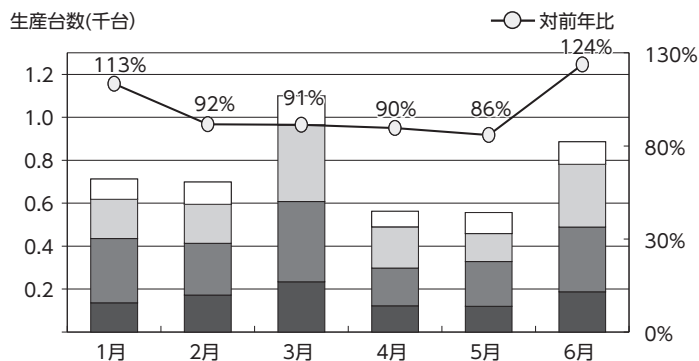
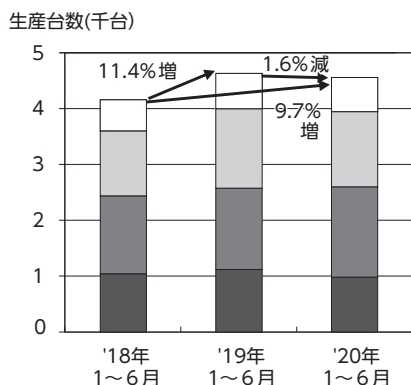
生産台数(千台)

○ 対前年比



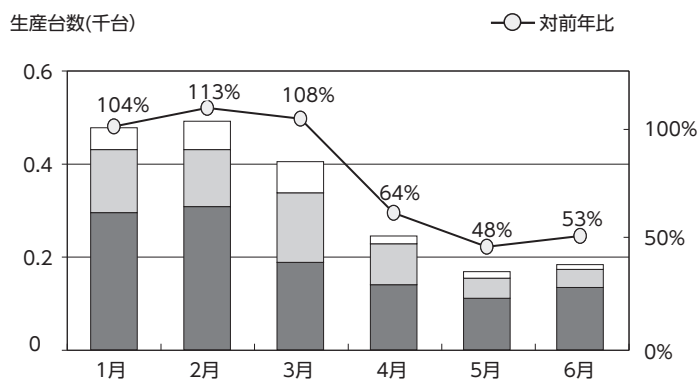
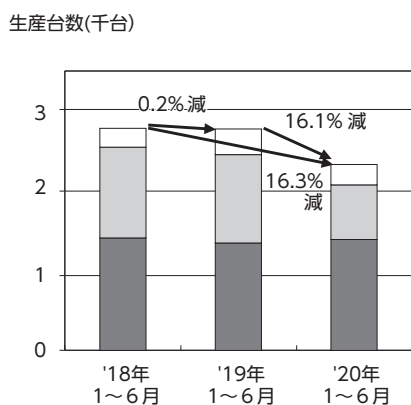
トレーラ

- その他特装系
- コンテナ
- バン
- 平床・低床



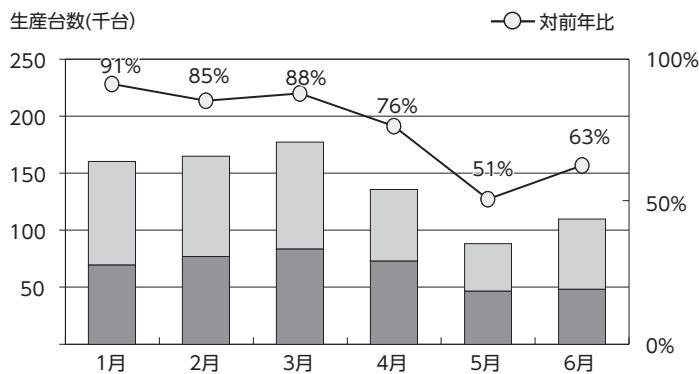
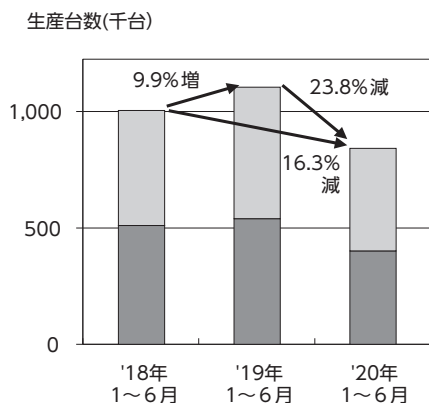
大中型バス

- 自家用
- 観光
- 路線



小型車（委託生産の乗・商用車）

- 輸出
- 国内



車体工業会会員生産台数の公表について

昨今の急激な景気変動に伴う業界全体の状況をいち早く社会全体へ公表するために、生産台数データを当会ホームページに公開しておりますので、下記サイトをご覧ください。

<http://www.jabia.or.jp/data/index.php>





編集後記

熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した「令和2年7月豪雨」は大きな被害をもたらした。全国各地からのボランティアの皆さんによる災害復旧支援活動は新型コロナウイルスの影響で中止となり、被災された地元の方々が自ら復旧作業に携わられた。地元企業の方もボランティアとして活動され、弊会会員会社も社員が参加された。慣れない作業に日頃のチームワークを活かし取り組んでいただいたことに感謝申し上げます。

7月東京大手町の日積算降水量が0.0mmの日数は6日間。そして関東甲信の梅雨明けの発表は8月1日で平年に比べ11日遅くなった。なお、東北北部の梅雨明けの発表はなされなかった。まさに日本全国が日々雨天という状況であった。

一転、8月は全国で猛暑となり、東京では猛暑日(最高気温35℃以上)が11日間、真夏日(30℃以上35℃未満)が19日間、熱帯夜(最低気温25℃以上)が21日間となった。静岡県浜松市では8月17日に国内観測史上最高に並ぶ41.1℃を記録。こうした状況で危惧されていた熱中症患者の方が全国的に増加した。亡くなられる方は高齢者に多くエアコンが設置されていない屋内、設置されていても使用していない状況で発見されている。急激な気温上昇に加えて、長時間のマスク装着によって熱中症リスクは増大するが、新型コロナウイルスの影響で人と人とのコミュニケーションが「密から疎」になってきているという状況も認識しなければならない。SNSで拡散する情報がある一方、日本の伝統でもあった「向こう三軒両隣」の意味についても見直す必要があるのではないかと。本号で紹介させていただいた「自動車業界新型コロナウイルス対策支援」の取組みも相互連携の大切さを示すものである。

旧暦では、和風月名(わふうげつめい)と呼ばれる月の呼び名を使用していた。和風月名は旧暦の季節や行事に合わせたもので、現在の暦と1~2か月のずれがある。9月は「長月(ながつき)」と呼ばれ、現在では蟬の音が弱まり、虫の音が高まってくる。台風の子供ともなるが、秋分の日を迎え、中秋の名月・十五夜(2020年は10月1日)と秋の夜長に「月」に思いを馳せる心のゆとりをもってみるのもよいと思う。(吉田)

表紙写真について

バス部会 ジェイ・バス(株)宇都宮工場製

ハイブリッド連節バス

全長18mとなる本車両は、通常の大型路線バスの1.5倍となる定員120名という大量輸送能力を備えています。

最適なシートレイアウトにより乗客の利便性、快適性、バリアフリーを実現したほか、ハイブリッドシステムの採用により環境負荷にも配慮しています。

また、ドライバーに急病などの異常が発生した際、乗客や乗務員が非常ブレーキスイッチを押すことで減速して停止する「ドライバー異常時対応システム(EDSS)」を標準装備しています。



新職員紹介

技術部部付部長

丹野 進一郎

会員の皆様と密に連携し、頑張ってもらいます。どうぞよろしくお願いいたします。



お知らせ

■ 講演会のご案内

- ◆日 時: 2020年10月15日(木) 14:30~16:00
- ◆場 所: 日本自動車会館 くまプラザ会議室
東京都港区芝大門1-1-30
- ◆講演テーマ: 「国内商用車市場動向と業界を取り巻く環境」
講演者: いすゞ自動車販売株式会社
- ◆参加費: 無料
- ◆申込み: 当会ホームページに掲載する用紙、又は会員へメール配信する用紙にてお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止として3密を避けるため、会場出席者は50名以内とし、WEB併用開催とします。但し、状況により、開催方法が変更となる場合がありますのでご了承ください。

■ 秋季会員大会 講演会のご案内

- ◆日 時: 2020年10月23日(金) 15:00~16:45
- ◆場 所: 浜松町東京会館 「フォンティヌ」
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル 38F
- ◆講演テーマ: 「変革の瞬間~赤字会社を世界No.1に
世界初・家庭用体脂肪計
タニタ食堂誕生秘話を交えて(仮)」
講演者: 谷田大輔氏(株)タニタ前代表取締役社長/経営コンサルタント)
- ◆申込み: 当会ホームページに掲載する用紙、又は会員へメール配信する用紙にてお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、懇親会は中止いたします。また3密を避けるため、会場出席者は60名以内とし、WEB併用開催とします。但し、状況により、開催方法が変更となる場合がありますのでご了承ください。

この会報「車体NEWS」は、主として自動車車体にかかわる法令改正等の動きを情報としてとりまとめ、春、夏、秋、冬の4回、季刊発行により関係方面の方々に毎回およそ1,700部を送付させていただいております。送付先は当工業会会員事業所他全国の大型車等の自動車販売、各都道府県のバス、トラック協会、バス、トラックの大手ユーザー、全国の経済産業局、運輸局、運輸支局、自動車技術総合機構、日本自動車車体整備協同組合連合会、軽自動車検査協会及び自動車関係団体となっております。

広告掲載会社

KYB株式会社	表2
イサム塗料株式会社	P.20
スリーエム ジャパン株式会社	表3
損害保険ジャパン株式会社	表4

車体NEWS

AUTUMN 2020 秋

2020年9月15日発行

発行所 一般社団法人 日本自動車車体工業会

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

TEL.03-3578-1681 FAX.03-3578-1684

発行人 吉田 量年

美しさと安全性の両立

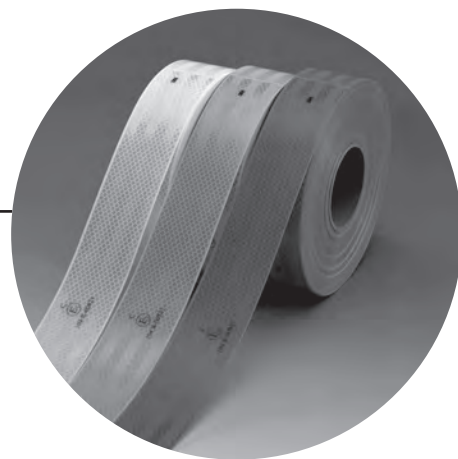
Beauty & Safety スリーエムからの提案です。

夜間や薄暮に多発するトラックなど大型車両の事故。車両の視認性低下が原因のひとつとなっています。夜間の事故防止には再帰反射材による車両マーキング(線状再帰反射材、輪郭再帰反射材、特徴等表示再帰反射材)が不可欠です。その効果は様々な研究報告により明らかになっています。

わが国では「道路運送車両の保安基準」でその取付要件が規定されました。すでに欧米では多くの国々で取付要件が規定されており、義務化された国もあります。スリーエムではこの基準に適合した(※Eマーク付)3MTMダイヤモンドグレードTMコンスピキュイティ反射シートと3MTM反射シート680Eシリーズを提供しています。

また、スリーエムでは従来より車体のボデーをPR媒体として活用するフリートマーキングシステムの概念を提案し、スコッチカルTMフィルム、コントロールタックTMプラスフィルムおよびグラフィックスを提供してきました。トラック輸送の有効性、重要性が今後さらに見直される傾向にあります。

今こそ安全性とPR効果がキーワードの車両マーキングとフリートマーキングの採用を検討する時期です。



3MTMダイヤモンドグレードTM
コンスピキュイティ反射シート

3MTM反射シート680Eシリーズ

スコッチカルTM フィルム

コントロールタックTMプラスフィルム

3MTM

ダイヤモンドグレードTM コンスピキュイティ反射シート

入射光を光源方向にまっすぐ戻す、再帰反射効果を備えたプリズムレンズ型反射シートです。ヘッドライトの光などで明るく輝き、自車の存在を相手に強くアピールします。

■おもな特徴

1. 従来品に比べ、反射効果が大幅にアップしています。
2. 広角性にすぐれ、カーブ時の見やすさも十分に確保できます。
3. 取り扱いが簡単です。裏面の透明フィルムをはがすだけで、多くの車体に直接貼ることができます。
4. 耐久期間は約7年です。(当社ガイドライン通りに貼付された場合)。

事故減少に対するコンスピキュイティ反射シートの有効性に関わる研究報告

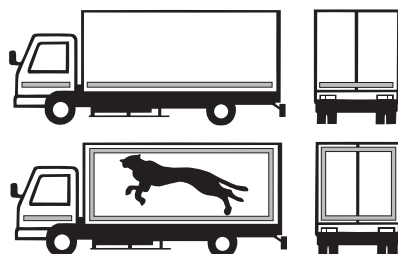
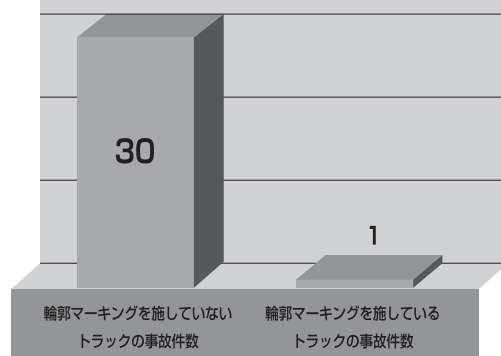
■ヨーロッパにおける研究報告

- 夜間や薄暮におけるトラックの側面・後面への衝突事故の約40%が“みられやすさ”(コンスピキュイティ)不足により発生している。
- 再帰反射材の輪郭マーキングを施したトラックの事故件数は、施していないトラックの事故件数の約1/30だった。

■米国における研究報告

- 再帰反射材による車両マーキングは重量トレーラーの側面・後面への衝突事故を約30%減少させた。特に夜間では約40%減少させた。

■事故件数対比



※Eマークとは:国連の車両等の相互承認協定規則(ECE)R104の要件に適合した製品に付記することができるマーク。このマーク入りの製品は「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示、別添105」に定める技術基準に適合している製品でもあります。



スリーエム ジャパン株式会社
トランスポーテーション セーフティ事業部

本社 〒141-8684 東京都港区北品川6丁目7番29号
電話 03-6409-3388
URL <http://www.mmm.co.jp>

3M

生産物賠償責任保険

生産物回収費用保険

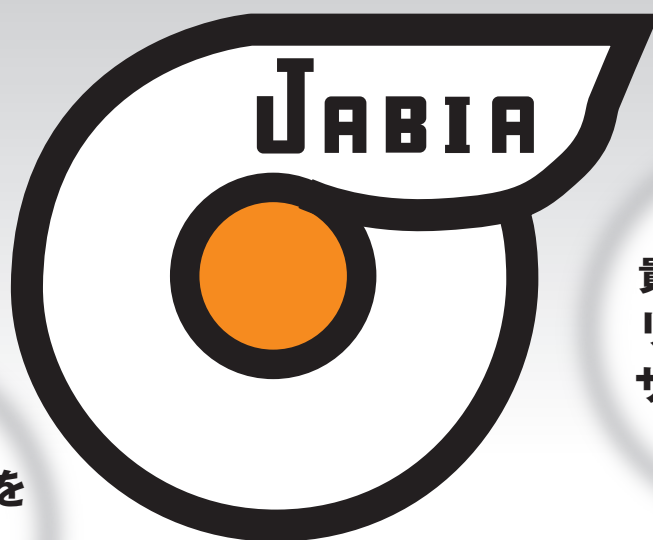
会員・準会員向けの
新しい保険制度が
できました!

日本自動車車体工業会 団体PL保険制度・ 団体リコール保険制度 (NEW!)

自動車メーカーだけではなく、車体メーカー、部品メーカーも責任を問われる時代です。

随時加入申込受付中

車体工業会会員の
皆さまのための
専用の保険制度。



貴社のPL対策・
リコール対策を
サポートします。

スケールメリットを
生かした割安な
保険料。

制度の趣旨

- (一社)日本自動車車体工業会の会員の皆さまのためのPL保険制度です。
- PL保険制度はPL事故および架装等が原因で生じた賠償事故の損害に対応します。
車体工業会のスケールメリットを活かした制度で多くの会員の皆さまにご利用いただいております。
- 今年度新たにスタートしたリコール保険制度もぜひご検討ください。
- この広告は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

お気軽にご相談ください

取扱代理店:

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目11番11号 東日本橋Y'sビル7F 株式会社ワイズマン 東京支店

TEL. 03-5623-6455 FAX. 03-5623-6488

ご相談用メールアドレス:jabiahoken@wiseman.gr.jp

お問い合わせ先:

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第一課

TEL. 03-3349-3322 FAX. 03-6388-0155



損害保険ジャパン株式会社